HOKKAIDO UNIVERSITY

Title	礼文華遺跡第3次調査 ： 遺跡範囲確認調査の記録
Author(s)	小杉, 康
Issue Date	2020-03-31
Doc URL	https://hdl.handle.net/2115/99476
Rights(URL)	https://creativecommons.org/licenses/by/4.0/
Type	book
File Information	2026052101.pdf

Hokkaido University Collection of Scholarly and Academic Papers : HUSCAP

礼文華遺跡第3次調査
遺跡範囲確認調査の記録



小 杉　康　編著

北海道大学大学院文学研究院考古学研究室　発行

2020

目次

1.遺跡の概要(1)
2.礼文華への長い小径(1-3)
3.第3次調査における遺跡範囲確認調査の概要(4)
4.A3-C3トレンチの発掘調査(5-6)
5.B7グリッドの再発掘調査(7-8)
6.TP1の発掘(9-11)
7.TP2の発掘(12-14)
8.TP3,TP7,TP8,TP14の発掘(15)
9.TP4の発掘(16-17)
10.TP5の発掘(18-19)
11.TP6の発掘(20)
12.TP9の発掘t(21)
13.TP10の発掘(22-23)
14.TP11の発掘(24-26)
15.TP12の発掘(27-29)
16.TP13の発掘(30)
17.TP15の発掘(31-32)
18.TP16の発掘(33)
19.TP17の発掘(34-36)
20.TP20,TP27の発掘(37)
21.TP26の発掘(38)
22.TP28の発掘(39)
23.TP31の発掘(40)
24.TP37の発掘(41)
25.遺跡東限の範囲確認調査(42-43)
26.遺跡北限の範囲確認調査(44-46)

本書は2012年度より実施している礼文華遺跡(北海道虻田郡豊浦町礼文華)の第3次発掘調査における範囲確認調査の記録である。調査の成果は文部科学省科学研究費補助金基盤研究(C)JSPS KAKENHI Grant Number 26370888「縄文文化『続縄文期』における海獣狩猟集落の研究』(小杉　康)によるものである。

なお、野外調査・室内調査の全参加者の氏名は本報告書に掲載する。

1. 遺跡の概要

礼文華遺跡は、以前には「礼文華貝塚」の名称で知られていた、北海道虻田郡豊浦町礼文華に所在する続縄文期の遺跡である。噴火湾北岸の中央部に位置する礼文華海岸に注ぎ込む総延長約60kmの礼文華川の河口右岸に立地する(図1)。

1963～65年に峰山巖らによって発掘調査され、続縄文期の墓地をともなう貝塚遺跡であることが知られるようになった。後年、その際に発掘された人骨資料が分析され、頭骨に現れた形態小変異から縄文人的でない点(百々1995)や歯の形質的特徴から弥生人的であること(松村2001)が指摘され、北海道南西部における続縄文期と弥生文化と関係を考える際に一石を投じるようになった。さらに、近在の伊達市有珠モシリ遺跡での南海産貝輪の出土などの調査成果を受けて、1991年には大島直行らによって発掘調査が実施され、新たな貝層の分布が確認された。なお、峰山調査地点(以下、M地点と仮称)の出土遺物については、2003年に青野友哉・松田宏介によって恵山式を中心とする続縄文土器が分析・紹介されている(青野・松田2003)。同様に土坑墓で発見された副葬品の銛頭等の骨角器類の一部は、1988年に大島によって紹介されている(大島1988)。

2. 礼文華への長い小径

北海道大学大学院文学研究科北方文化論講座(考古学)[2019年4月より北海道大学大学院文学研究院考古学研究室]では、2000年から噴火湾北岸域での考古学調査を継続しており、礼文華遺跡の調査はその一環で、3遺跡目にあたる。最初は伊達市の有珠6遺跡で、「噴火湾岸域における後氷期の自然環境の変動と人類適応」の研究テーマの下に2005年まで調査を継続して実施した。2006年からは、この一連の調査を「噴火湾北岸縄文エコミュージアム構想とサテライト形成」として位置付けて、新たに豊浦町の小幌洞窟遺跡の調査へと引き継いだ。小幌洞窟遺跡では、その海蝕洞窟が縄文海進の際に形成され、遅くとも縄文晩期にはそこでの人々の活動が開始することを明らかにした。また続縄文期にはシカ猟と共にオットセイ猟が行われ、擦文文化の時期にはオットセイ猟への比重が高まる過程を確認できた。小幌洞窟遺跡は1961年に、大場利夫らによって発掘調査が実施されており、続縄文期をはじめとする何体かの人骨資料が発見されている。これら人骨資料の再調査も行い、そのうちの多くの個体が年代的に続縄文期のものであることを再確認することもできた(滝川2011)。

小幌洞窟遺跡は、陸地側からのアプローチが難しい特異な立地環境にある。そのため冬季に噴火湾で越冬するオットセイ(雌個体、若年個体)を狙ったキャンプサイト的な性格が調査当初から予測されたが、洞窟内に墓が作られる点や多くの土器や石器、骨角器(銛頭など)がそこに廃棄されている点などを考え合わせる

表1　第3次調査第1シーズンの調査過程

			B7再発掘	A3～C3	TP1	TP2	TP3	TP4	TP5	TP6	TP7	TP8	TP9
8月19日	日												
8月20日	月												
8月21日	火												
8月22日	水	第1日目											
8月23日	木	第2日目											
8月24日	金	第3日目											
8月25日	土	第4日目											
8月26日	日	第5日目											
8月27日	月	第6日目											
8月28日	火	第7日目											
8月29日	水	第8日目											
8月30日	木	第9日目											
8月31日	金	第10日目											
9月1日	土	第11日目											
9月2日	日	第12日目											
9月3日	月	第13日目											

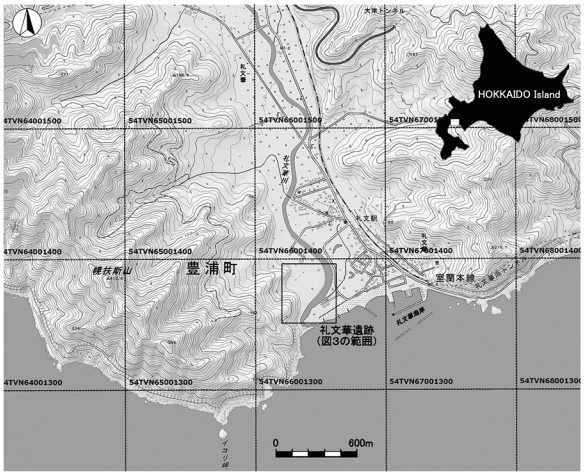


図1　遺跡の位置と周辺の地形

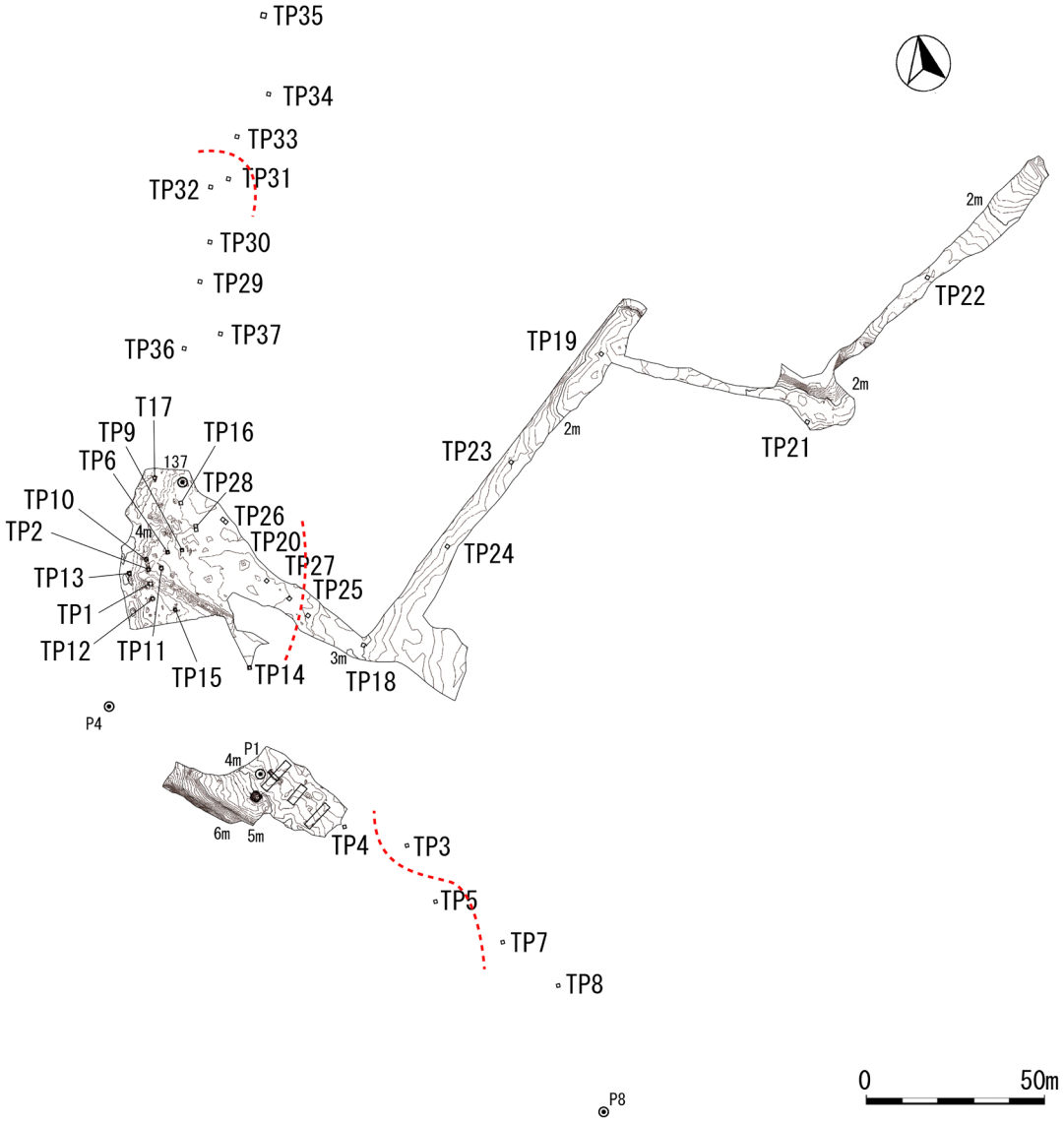


図2　試掘坑(TP)の配置と遺跡の集中的活動域の推定

と、特定の季節に限定的に使用されるキャンプサイト以上の性格を考究する必要性がでてきた。その具体的な性格をより明らかにし、続縄文期における生業活動の実態に迫るために、近距離に位置する同時期の貝塚遺跡として知られる礼文華遺跡の調査を計画した。

そして調査を開始するとすぐに、礼文華遺跡におけるイルカ骨の出土量の多さに驚愕した。第1次調査は多くの銛頭が副葬された土坑墓が発見されているが、改めて小幌洞窟遺跡でのオットセイ猟、礼文華遺跡でのイルカ猟、両者の実態と関係を明らかにするための調査研究テーマを以下のように具体化させて、調査を進めている。

研究テーマ：縄文文化続縄文期における海獣狩猟集落の研究

北海道南西部、噴火湾北岸の海岸河口部に立地するイルカ猟を生業とする母村的集落遺跡と、屹立する断崖直下の海蝕洞窟に立地する季節的なオットセイ猟をおこなうキャンプサイト的遺跡との遺跡間関係を分析し、続縄文期における海浜部での漁撈活動、特に海獣狩猟活動の実態を明らかにする。

3. 第3次調査における遺跡範囲確認調査の概要

以上のような経緯で、2012年度から礼文華遺跡での新たな調査を開始した。先の1963～65年の峰山らによる調査を第1次調査、1991年の大島らの調査を第2次調査と位置づけて、今回の調査を第3次調査と呼称する。調査期間は毎年夏季の約2週間で、初年度にあたる2012年が第3次調査第1シーズン(8月22日～9月4日)、続いて2013年が同第2シーズン(8月22日～9月4日)、2014年が同第3シーズン(9月9日～9月22日)となる。

第1シーズンでは遺跡の南限を明らかにするために第2次調査地点よりも南側の試掘調査を行い、また現在では位置が不明になっている第1次調査の発掘地点を再確認するために第2次調査地点よりも北側の範囲に試掘坑を設定した。予測される遺跡の広がり(集中的活動域)は、西側への広がりは山塊の裾部ですぐに区切られると思われる。南側への広がりはTP4－TP5ラインとTP3－TP7ラインとの間で途切れることが確認できた(TPは試掘坑の略記)。それよりも南側、東側は海岸線と礼文華川河口右岸とに向かって海岸砂が厚く堆積している(図2)。

第1次調査の発掘地点を再確認するために、第2次調査地点から北側へ向かって表面採集を実施した。後に「北地区」と呼称することになるところで、地表面に破砕貝殻が散見される状態を確認できたので、TP1とTP2とを設定して試掘調査を実施した結果、TP1では続縄文期の貝層を、TP2では続縄文期の土坑墓を発見した。(表1)

第2シーズンの調査では、北地区での試掘調査を重点的に行った(TP10～TP15 ・TP17)。第2次調査地点(「南地区」と呼称する)と北地区との間には、降雨時に山裾から流れ出す小さな沢が存在するが、そのラインを目安として、貝塚を擁する南地区の中心的活動域と北地区の中心的活動域とが存在することを明らかにできた。(表3)

第3シーズンでは遺跡の東側への広がりを明らかにするために礼文華川右岸へ向かって試掘坑を設定した(TP16・TP18～TP28)。西側にせまる山裾から川岸側へ50mほど離れた地点で、続縄文期の遺物の包含量はほとんど途切れることが確かめられた(TP27－TP25間)。(表3)

引き続いて、遺跡の北側への広がりを確認する調査を計画したが、地権者との関係で試掘調査は直ちには実施できなかった。そこで第4シーズンからは遺跡の中心的活動域の一つと目される北地区の発掘調査を先行して実施することにした。以降、2019年の第8シーズンにいたる調査で、北地区で貝層や土坑墓群の発掘調査を継続している。

2018年第7シーズンでは、地権者からの同意がえられたので、遺跡の北限を明らかにするための試掘調査を、北地区での貝塚や土坑墓等の調査と同時進行で行った。しかし、2つの試掘坑(TP29・TP30) での調査中に北海道苫小牧東部地震が発生し、第7シーズンの調査は中断した。

2019年第8シーズンでは、北地区の調査とともに、遺跡範囲の北限を確かめる試掘調査を継続して実施することができた(TP31～TP37)。その結果、西側の山裾の北側への延びが尾根の先端をもって西側へと回り込む地点、そこには海岸にあるならば「ローソク岩」と呼ばれるような柱状の岩峰(私たちは愛称として「礼文華岩」と言っている)が屹立しているが、その近辺で遺物の包含量が少なることが確認できた(TP31－TP33間)。すなわち、山塊の裾にそった微高地状のところに集中的活動域が重なる状態が明らかになってきた。

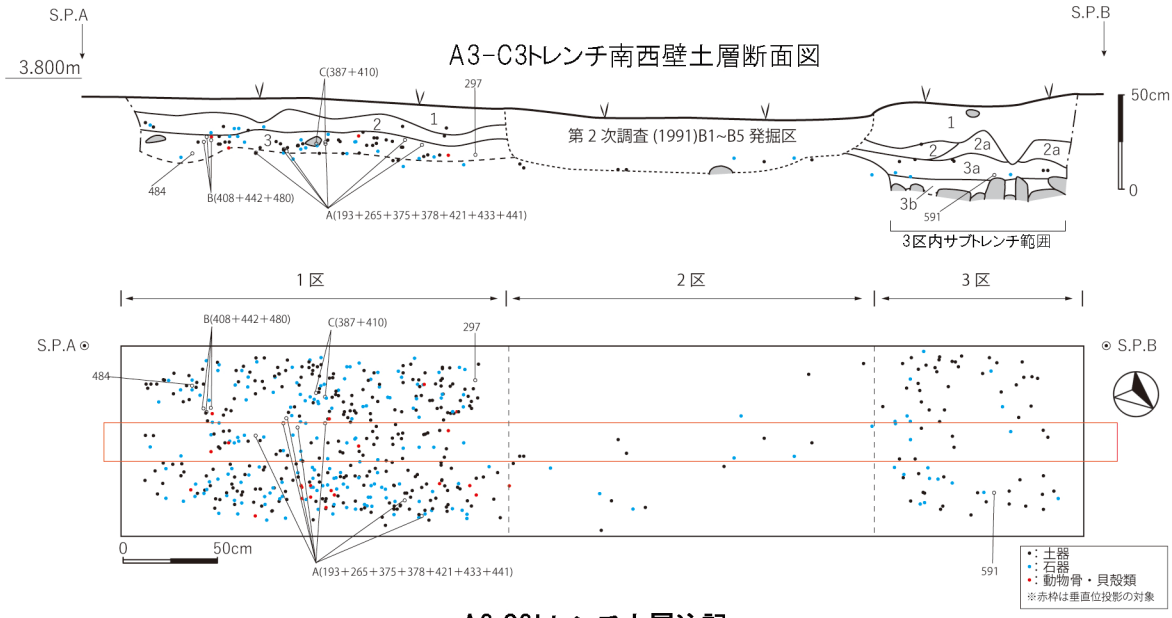
第8シーズンまでの範囲確認調査で、北側への広がりの限界を一応おさえることができたが、改めて山塊の北側で西へと回り込む山裾近くの微高地での確認調査が必要であることも明らかになってきた。

本報告では第1～3シーズン、並びに第7～8シーズンにおける範囲確認調査で得られた基礎資料の提示を行い、今度の調査のための準備とする。

表2　第3次調査第2シーズンの調査過程

			TP1	TP2	TP6	TP10	TP11	TP12	TP13	TP14	TP15	TP16	TP17
8月21日	水												
8月22日	木	第1日目											
8月23日	金	第2日目				設定	設定						
8月24日	土	第3日目				開始	開始	設定					
8月25日	日	第4日目											
8月26日	月	第5日目											
8月27日	火	第6日目									設定		
8月28日	水	第7日目											
8月29日？	木	第8日目											
8月30日？	金	第9日目											
8月31日	土	第10日目											
9月1日	日	第11日目											
9月2日	月	第12日目											
9月3日	火	第13日目											
9月4日	水	第14日目											

4.A3-C3トレンチの発掘



A3-C3トレンチ土層注記

1層：10YR3/3．暗褐色細砂．粘性やや弱．しまりやや弱．直径3～5cmの円礫や亜角礫を微量に含む．遺物の出土量は数点とごくわずかである．

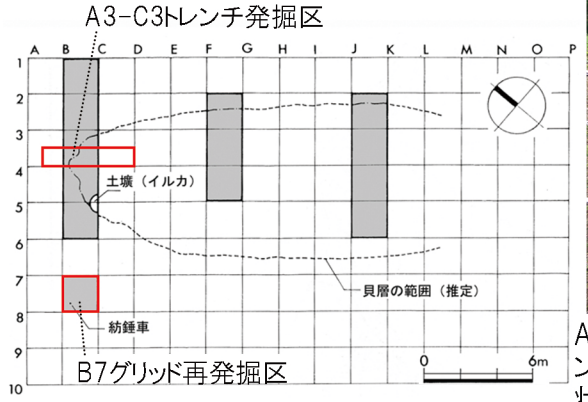
2層：7.5YR3/3．暗褐色細砂．粘性やや強．しまりやや強．直径3～5cmの円礫や亜角礫と、直径10～20cmの円礫や亜角礫をやや多量に含む．遺物が多数出土．

2a層：10YR5/6．黄褐色砂．粘性弱．しまりやや強．直径2㎜～2cmの亜角礫や角礫を多量に含む．直径5㎜～1cmの炭化物粒を微量に含む．遺物は2a層の上面と下面近くから多く出土し、2a層内部からは数点とわずかである．(B7グリッド崩落層に対応)

3層：7.5YR2/2．黒褐色砂質シルト．粘性やや強．しまり中．直径5～10cmの円礫や亜角礫と、直径15～20cmの円礫や亜角礫を少量含む．3層の下に**貝層**・**3a層**包含されると考えられる．(今回の調査では、貝層の上面で掘下げを止めた)．貝は破砕されている．貝層の上面は、最大で10cm程度の起伏がある．貝種はイガイが中心で、アサリ、エゾボラ、タマキビが含まれる．また、ブロック状に焼けたウニガラが含まれる．ほかに魚骨や、オットセイやイルカなどの海獣骨を包含する．貝は1区と、2区の東側にのみ包含し、2区の西側にはブロック状に破砕貝が包含されるのみで、3区からは全く出土しない．遺物が最も多く出土した層である．

3b層：10YR2/2．黒褐色細砂．粘性やや強．しまりやや強．直径5～15cmの礫を多量に含む．貝層・3a層の下に位置する層と考えられる．(今回の調査では礫が多数出土した段階で掘下げを止めた)．3b層上面付近から遺物が多数出土した．

(記録：勝木・佐々木・徳永)



第2次調査(1991)発掘区との位置関係
(大島1992に加筆)



A3-C3トレンチ調査状況(2012/8/24 17:23)



A3-C3トレンチ掘り下げ最下底面(B3・C3グリッドは貝層上面を検出．北西側から)　(8/29 16:07)



3区(A3グリッド)内サブトレンチと南西壁土層断面
(2012/8/31 10:03)



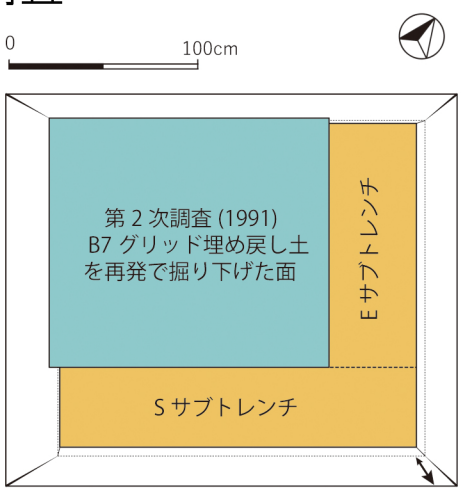
A3-C3トレンチ出土 土器・石器・動物骨

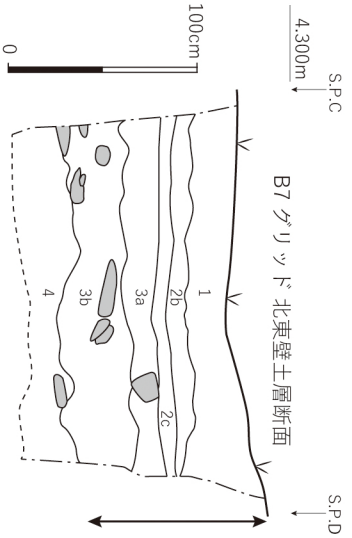
スケールは50mm

5.B7グリッドの再発掘調査

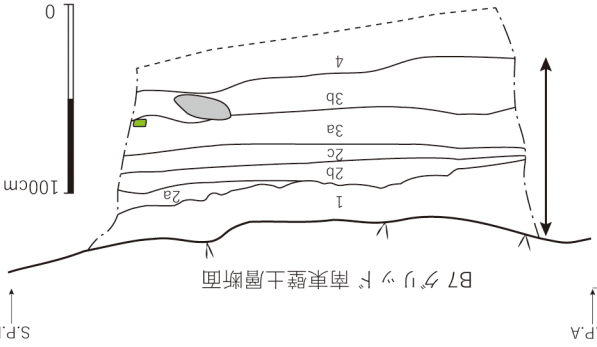
B7グリッド土層注記

1層：10YR3/3．暗褐色．砂質シルト．粘性やや弱．しまり中．
2a層：10YR4/4．褐色．砂質シルト．粘性やや強．しまりやや強．無遺物層．1層下面によって切られている．崩落土．
2b層：10YR4/4～2.5Y4/3．褐色～オリーブ褐色．砂質シルト．粘性中．しまりやや弱～中．
直径1～3cmの黒褐色土をブロック状に少量含む．1層との層境が不整合．崩落土．
2c層：10YR5/3～2.5Y5/2．にぶい黄褐色～暗灰黄色．粘土．粘性強．しまり強．崩落土．
3a層：7.5YR2/2．黒褐色．砂質シルト～細砂．粘性やや強～中．しまり中～やや弱．直径4～15cmの亜角礫を多量に含む．
3b層：7.5YR1.7/1～10YR2/2．黒色～黒褐色．砂質シルト～細砂．粘性やや強．しまりやや強．直径2～33cm程度の亜角礫をごく多量に含む．
4層：7.5YR3/2～10YR2/3．黒褐色．細砂．粘性やや強．しまりやや弱．直径2～14cmの亜角礫をごく多量に含む．亜角礫の量は3b層よりも多い．　（記録：飯浜・高井）





※ 両矢印の深度は、第２次調査の際に掘り下げた深さ。



掘り下げ層位	分層層位
1層	1層
2層	2a層 2b層 2c層
3層	3a層 3b層
4層	4層



B7グリッド　北東壁土層断面　2012/8/27 11:32



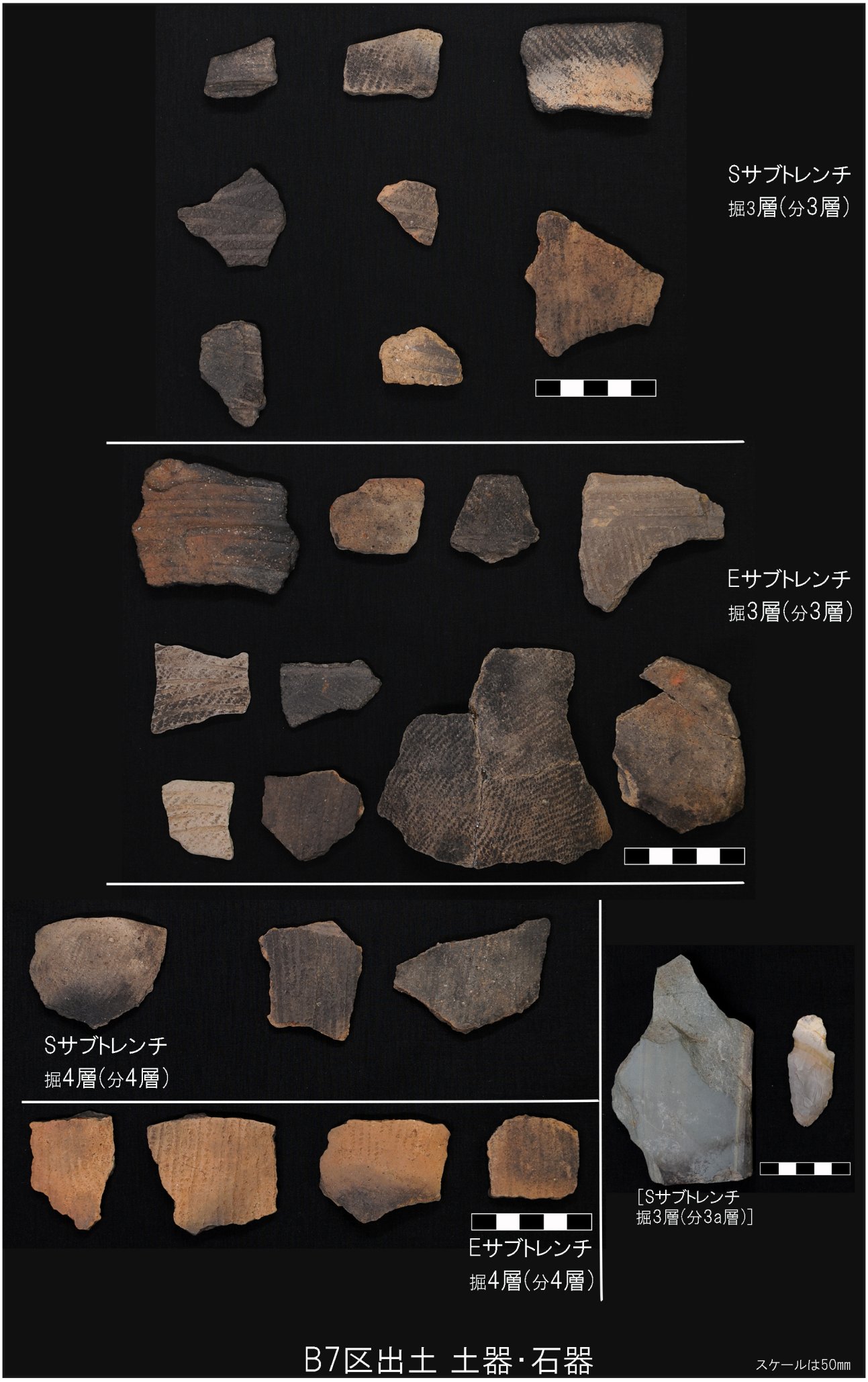
南東壁土層断面　2012/8/27 11:26



再発掘前のB7グリッドの埋没状態（北側から）
2012/8/23 8:57



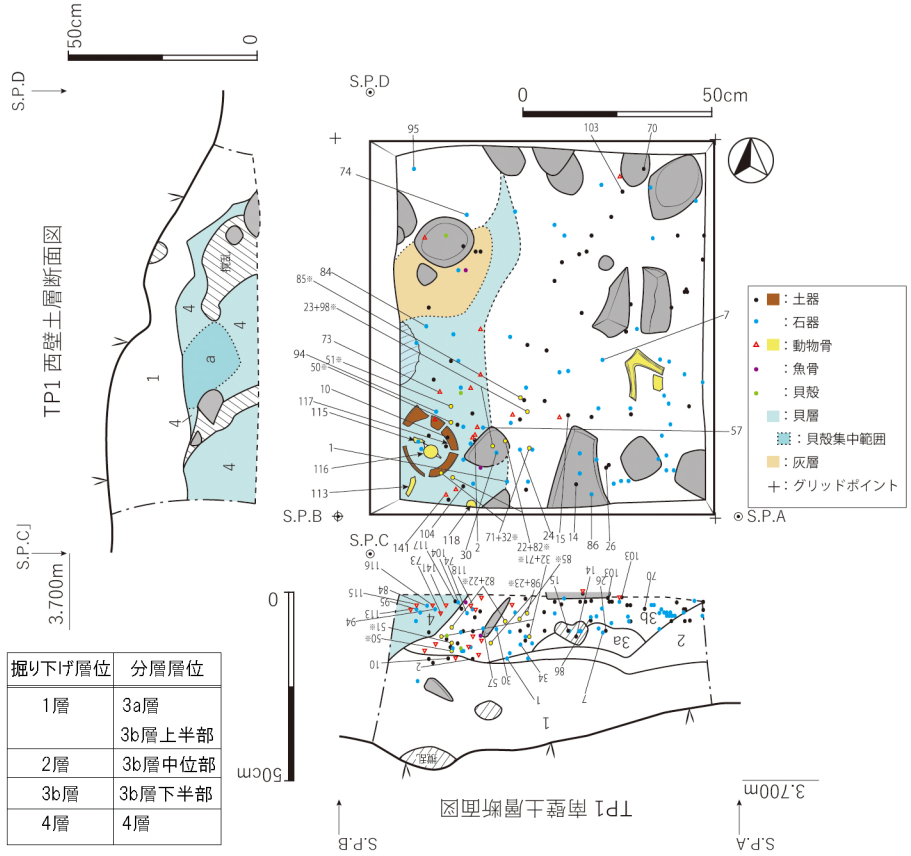
B7グリッド　完掘状態（西側から）　2012/8/27 11:32



B7区出土 土器・石器

スケールは50㎜

6.TP1の発掘



掘り下げ層位	分層層位
1層	3a層 3b層上半部
2層	3b層中位部
3b層	3b層下半部
4層	4層

TP1(南壁)土層注記

1層(客土層)：10YR2/2. 黒褐色. しまり普通. 粘性やや強. 破砕された貝を少量含む.

2層：2.5Y2/1. 黒色. しまりやや強. 粘性強.

3a層：2.5Y3/3. 暗オリーブ褐色. しまりやや強. 粘性強.

3b層：10YR2/1. 黒色. しまりやや強. 粘性普通.

4層(貝層)：10YR3/3. 暗褐色. しまりやや弱. 粘性やや弱. 破砕された貝を多く含む. 大きな貝片を少量含む. (西壁a：貝殻の含有度が高く大形の貝殻も含まれる。)

(記録：渡邉)

※ bの範囲では、2015年度調査で掘り下げ面直下から続縄文期の埋葬人骨が発見される.



TP1 掘り下げ途中(北側から)
2012/8/30 17:14



TP1 掘り下げ最下底面(東側から)
2012/9/2 9:33



TP1 掘り下げ最下底面(北側から)
2012/9/2 9:36



4層中遺物(土器117,動物骨113・116)出土状態
2012/9/2 9:41

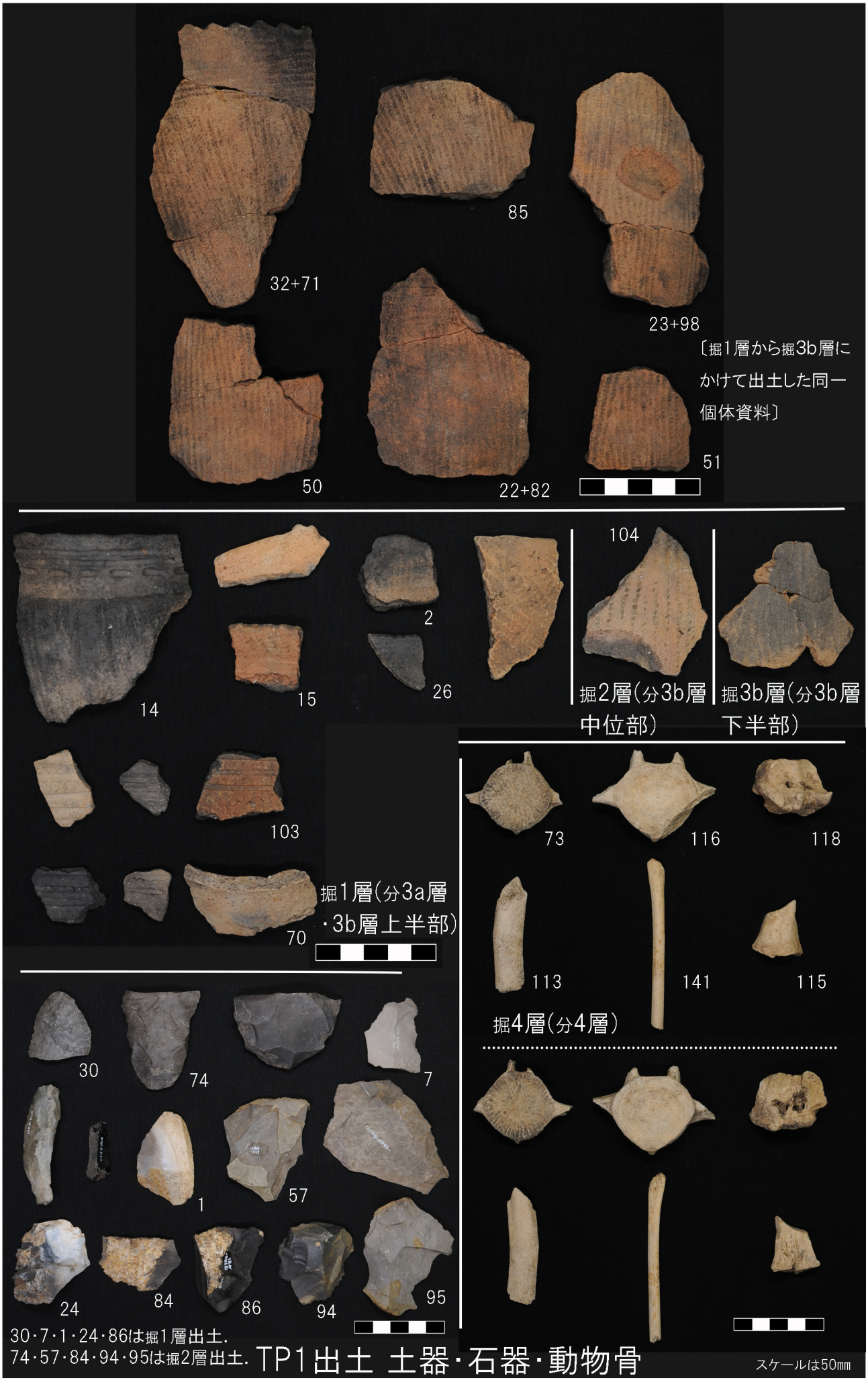
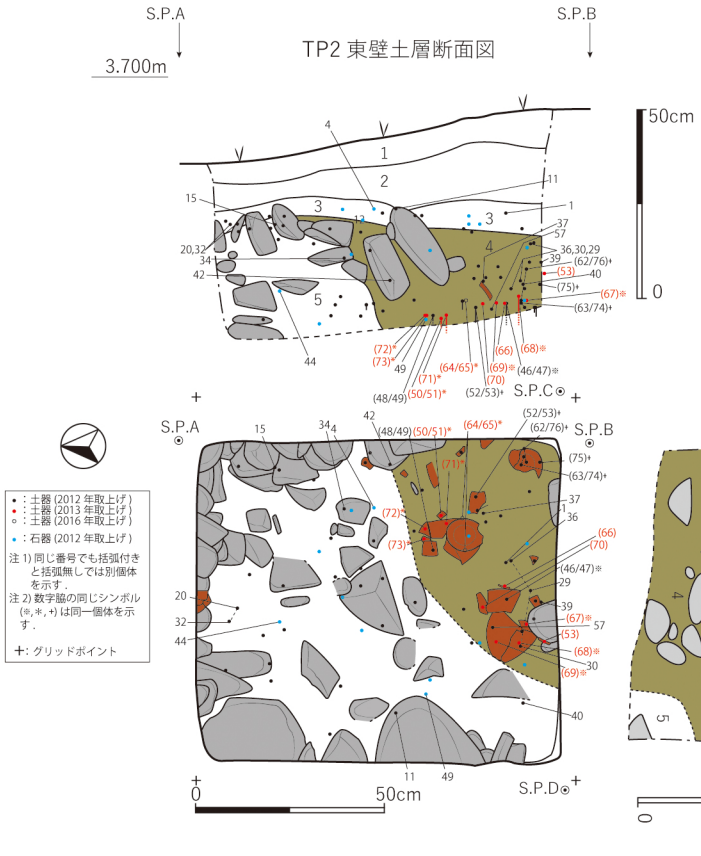

32+71
85
23+98
〔掘1層から掘3b層にかけて出土した同一個体資料〕
50
22+82
51
14
15
2
26
104
掘2層(分3b層中位部)
掘3b層(分3b層下半部)
103
掘1層(分3a層・3b層上半部)
70
73
116
118
113
141
115
掘4層(分4層)
30
74
7
1
57
24
84
86
94
95
30・7・1・24・86は掘1層出土.
74・57・84・94・95は掘2層出土.
TP1出土 土器・石器・動物骨
スケールは50㎜



表3 第3次調査第3シーズンの調査過程

			TP16	TP18	TP19	TP20	TP21	TP22	TP23	TP24	TP25	TP26	TP27	TP28
9月8日	月													
9月9日	火	第1日目												
9月10日	水	第2日目				設定	設定	設定						
9月11日	木	第3日目								設定				
9月12日	金	第4日目												
9月13日	土	第5日目												
9月14日	日	第6日目											設定	
9月15日	月	第7日目												設定
9月16日	火	第8日目												
9月17日	水	第9日目												
9月18日	木	第10日目												
9月19日	金	第11日目												
9月20日	土	第12日目	完			注記						完		埋
9月21日	日	第13日目	埋			埋							埋	
9月22日	月	第14日目												
9月23日	火													

7.TP2の発掘



掘り下げ層位	分層層位
1層	1層
2層	2層
3層	3層
	4層上半部
	5層上半部
4層	4層最下部
	5層最下部

TP2(S壁)土層注記

1層：7.5YR3/2．黒褐色．粘性弱．しまり弱．土器片　石器片を少量含む．

2層：表土層．10YR2/3．黒褐色．粘性普通．しまりやや弱．

3層：10YR4/2．灰黄褐色．粘性強．しまり強．無遺物．（火山灰か）．

4層：7.5YR1.7/1．黒色．粘性やや弱．しまりややあり．土坑覆土．直径5cm～10cmの亜角礫を少量含む．

5層：7.5YR4/3．褐色．砂質．粘性弱．しまり普通．直径5cm～10cmの亜角礫を多量に含む．　（記録：高野・佐々木）



TP2 掘り下げ最下底面(北側から)
2012/9/1 10:10



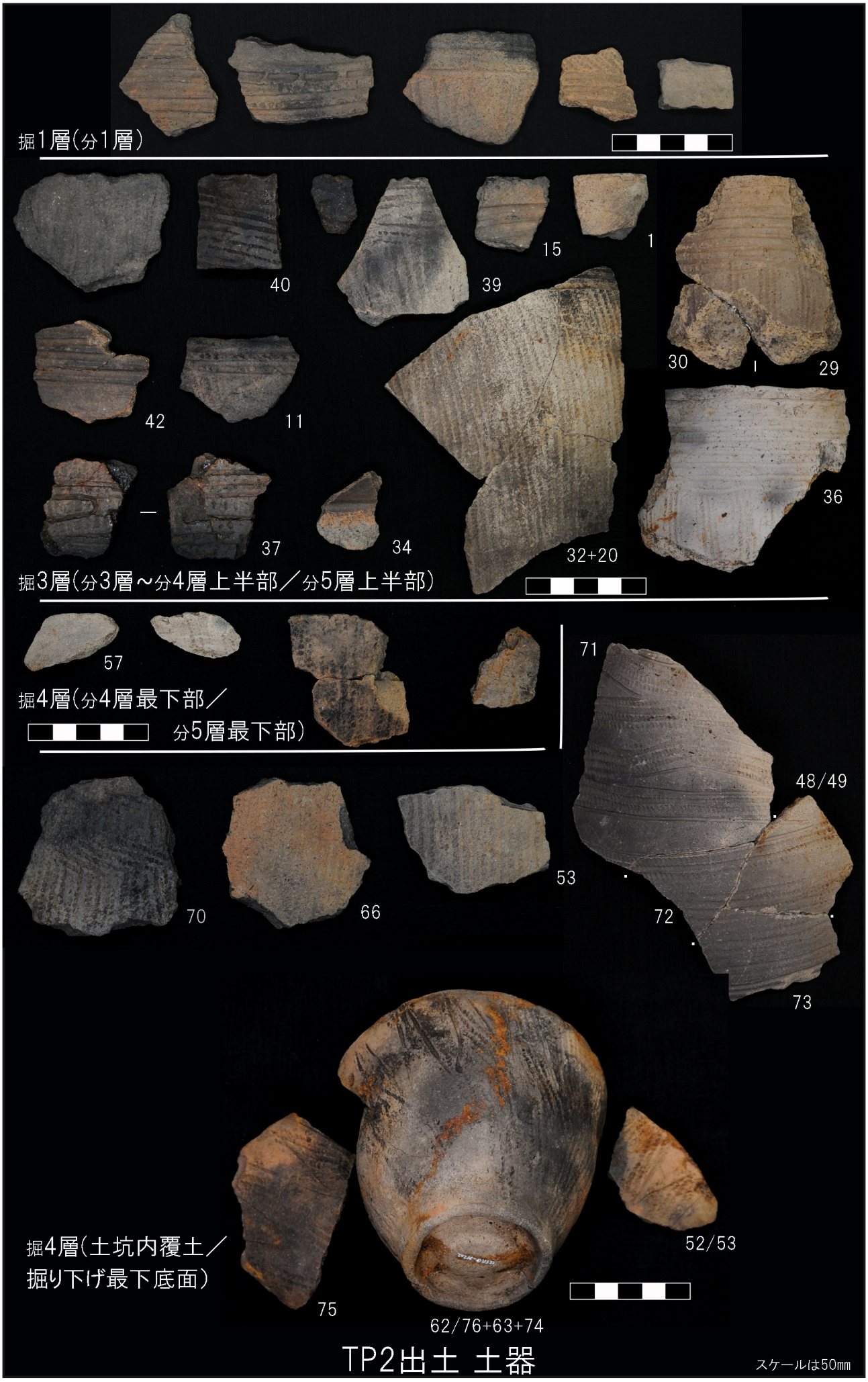
TP2 土坑内副葬土器出土状態
2012/9/1 10:10



TP2 掘り下げ途中・東壁土層断面(西側から)
2012/8/30 17:10



TP1と
TP2(手前側)
との配置
2012/8/29
17:43



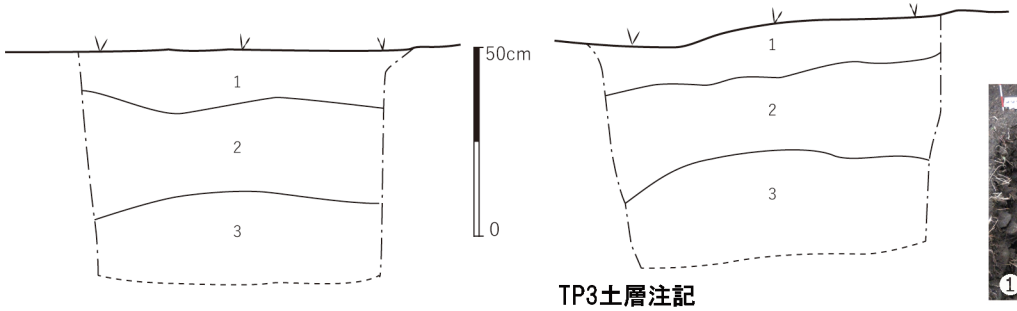
TP2出土 土器

スケールは50㎜


46/47
67
69
68
掘4層(土坑内覆土／
掘り下げ最下底面)
4
49
44
掘1層
土坑覆土(土器68
・69の直下から出土)
TP2出土 土器・石器・動物骨
スケールは50mm

8.TP3・TP7・TP8・TP14の発掘

S.P.C
3.200m
TP3 東壁土層断面図
S.P.D
S.P.B
3.200m
TP3 南壁土層断面図
S.P.A



① TP3東壁土層断面
(2012/8/29 17:14)
② TP7南壁土層断面
(2012/9/2 17:47)
③ TP8西壁土層断面
(2012/9/2 17:37)

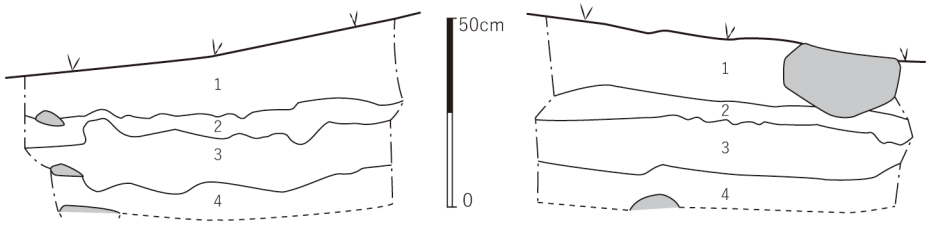


TP3土層注記

1層:10YR2/3. 黒褐色. 細砂. 粘性やや弱. しまりやや強. 無遺物層. 直径5～8cmの亜角礫を微量に含む.
2層:10YR2/2. 黒褐色. 細砂. 粘性やや弱. しまりやや弱. 無遺物層. 直径2～25cmの亜角礫を多量に含む. 層の下ほど直径2～3cmの小礫が多い印象.
3層:2.5Y3/3. 暗オリーブ褐色. 粘性やや強. しまりやや弱. 無遺物層. 直径2～25cmの亜角礫をごく多量に含む.

(記録:高井・奥永・飯浜)

S.P.B
3.100m
TP7 南壁土層断面図
S.P.A
S.P.C
3.100m
TP7 西壁土層断面図
S.P.D



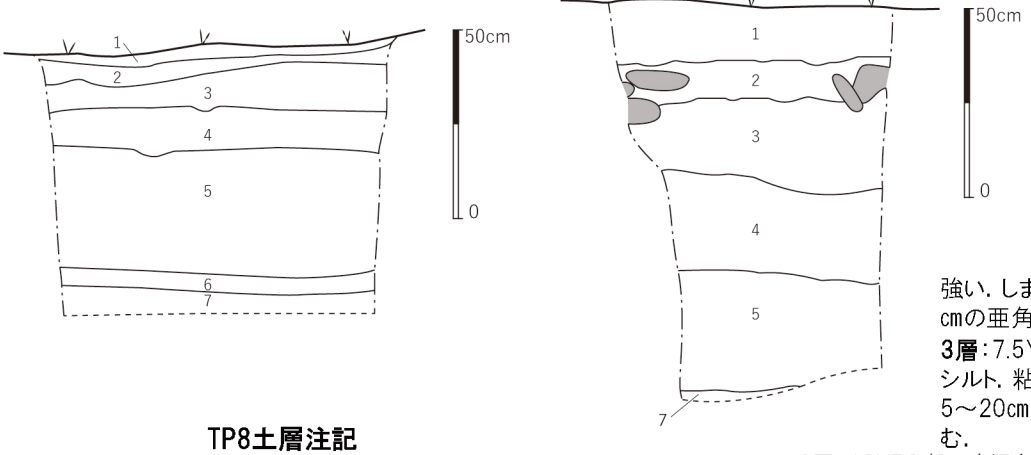


TP7土層注記

1層:10YR2/2. 黒褐色. 粘性やや弱. しまり中. 直径5～10cmの角礫・亜角礫がやや多く含まれる. 直径2㎜～5cm程度の砂質シルト(明灰白色)をブロック状に微量に含む.
2層:10YR4/4. 褐色. 細砂. 粘性弱. しまりやや弱. 直径5㎜～3cmの角礫・亜角礫がやや多く含まれる. 下面に近づくにつれて礫が増える. 上面・下面が波打っており(不整合面)、人為的な改変の結果、堆積した土層である可能性がある. 直径2㎜～2cm程度の砂質シルト(明褐色)をブロック状に少量含む.
3層:7.5YR2/2. 黒褐色. 砂質シルト. 粘性やや強. しまりやや強. 直径10～15cmの円礫・亜角礫・角礫が多量に含まれる. 上部は礫が少なく、下面に近づくにつれて礫が増える.
4層:10YR3/3. 暗褐色. 砂質シルト. 粘性やや強. しまりやや強. 直径5～10cmの亜角礫・角礫が多量に含まれる.

(記録:勝木・大西)

S.P.A
3.500m
TP8 南壁土層断面図
S.P.B
S.P.A
TP14 南壁土層断面図
3.300m
S.P.B



TP14(南壁)土層注記

1層:7.7TR2/1. 黒色. シルト. 粘性やや強い. しまりやや強い. 表土層.
2層:10YR3/4. 暗褐色. 粘性強い. しまり強い. 直径10～20cmの亜角礫を少量含む.
3層:7.5YR2/2. 黒褐色. 砂質シルト. 粘性中. しまり中. 直径5～20cmの亜角礫を多量に含む.
4層:10YR3/3. 暗褐色. 細砂. 直径2～5㎜の円礫と5～20cmの亜角礫・円礫を多量に含む.
5層:10YR3/4. 暗褐色. 細砂. 直径3～5㎜の礫を少量含む. 直径10～15cmの礫を少量含む. 湧水あり.
(東壁**6層**及び**7層**は湧水のため観察不可)

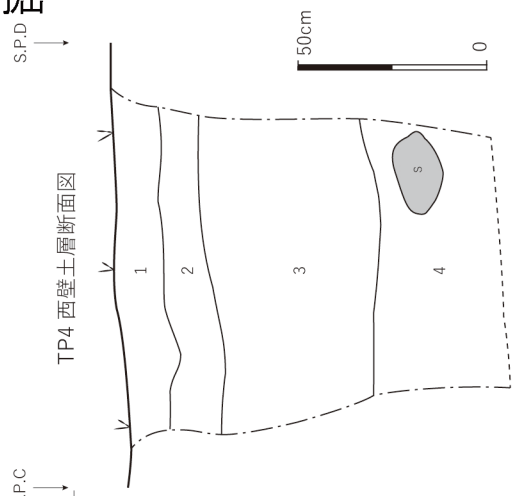
(記録:飯浜)

TP8土層注記

1層:細砂. 粘性弱. しまり弱. 10YR3/4. 褐色. 礫殆ど含まず、根多い.
2層:細砂. 粘性弱. しまり弱. 2.5Y4/4. オリーブ褐色. 礫殆ど含まず、根多い.
3層:細砂. 粘性弱. しまり中. 10YR3/3. 暗褐色. 礫殆ど含まず、根多い.
4層:細砂. 粘性弱. しまり強. 7.5YR2/2. 黒褐色. 礫殆ど含まず、根やや多い.
5層:細砂. 粘性弱. しまり強. 10YR4/6. 褐色. 礫殆ど含まない.
6層:細砂. 粘性弱. しまり強. 10YR3/3. 暗褐色. 礫殆ど含まない.
7層:細砂. 粘性弱. しまり強. 10YR4/4. 褐色. 礫殆ど含まない.

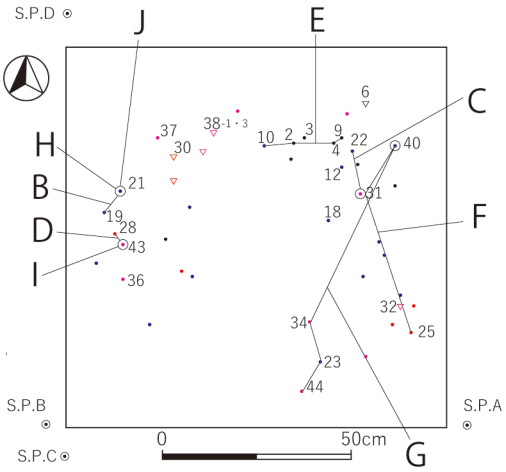
(記録:高井・奥永)

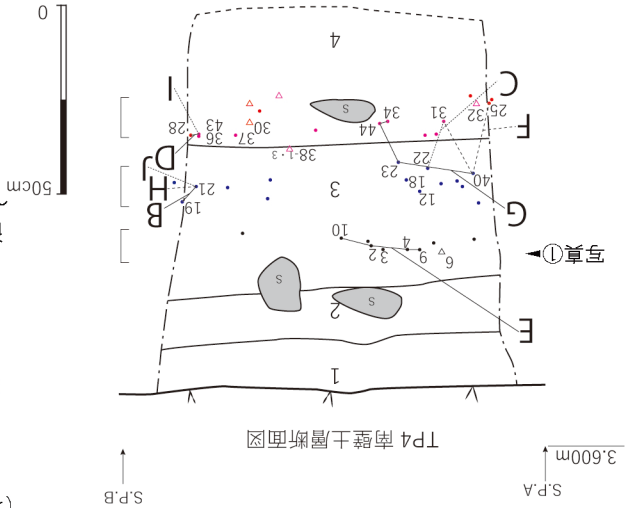
9.TP4の発掘



掘り下げ層位	分層層位
1層	1層
2層	2層
3層	3層
	4層

・：土器　※なお、調査区内での上位出土位置を「黒色」、中位出土位置を「青色」、下位出土位置を「赤色」、のシンボル色で示す。
▽：石器





TP4土層注記

1層：10YR3/2. 黒褐色. 細砂. 粘性弱. しまりやや弱. 直径2cm～20cmの亜角礫を少量含む. ほとんどは直径2cm～3cmの小礫. 根が多い.

2層：2.5Y4/3. オリーブ褐色. 細砂. 粘性弱. しまりやや弱. 直径2cm～20cmの亜角礫を少量含む.

3層：10YR2/2. 黒褐色. 砂質シルト. 粘性中. しまりやや弱. 直径2cm～25cmの亜角礫を多量に含む.

4層：10YR3/3. 暗褐色. 砂質シルト. 粘性やや弱. しまりやや弱. 直径2cm～25cmの亜角礫を多量に含む.

（記録：飯浜・徳永・奥永）



TP4 掘り下げ層位3層上部発掘状況
2012/8/31 9:20



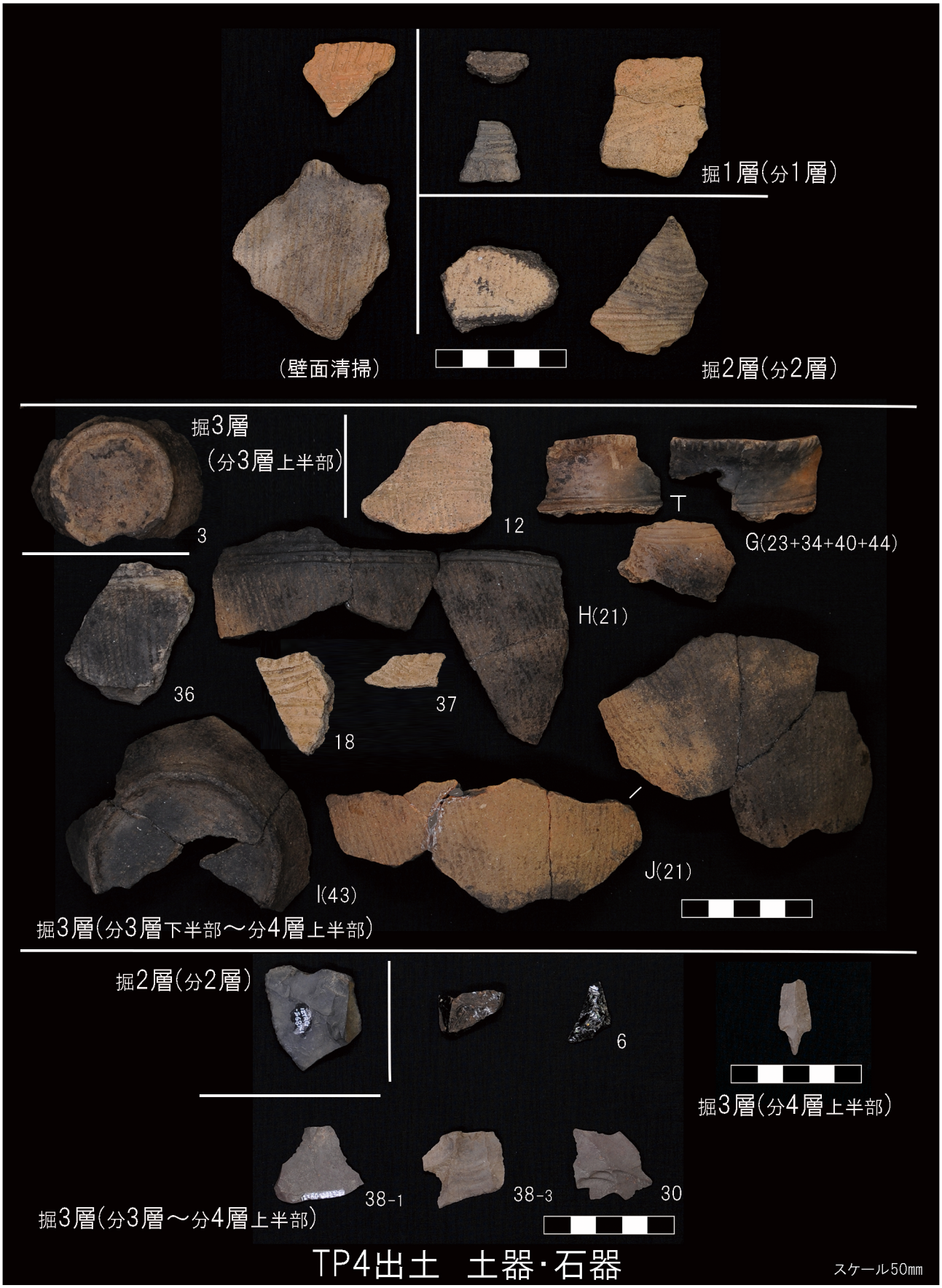
写真① 掘り下げ途中(分3層上部 南側から)
2012/8/31 10:12



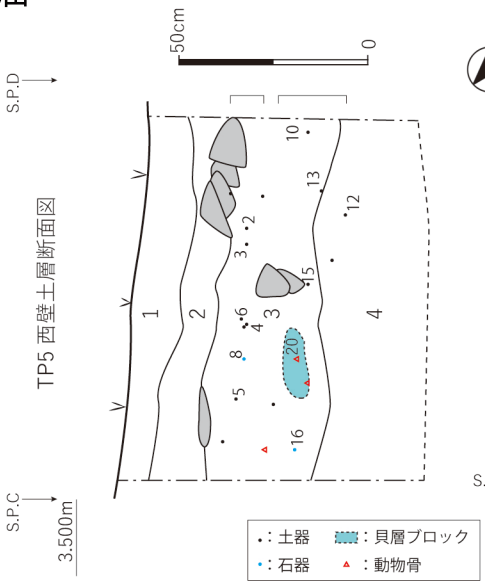
TP4 西壁土層断面　2012/9/2 10:9

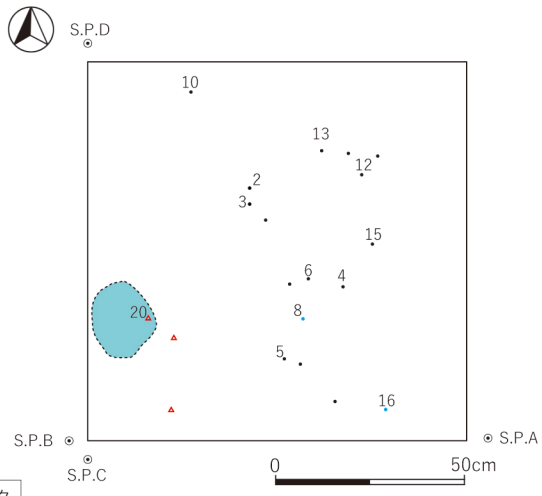


TP4 南壁土層断面　2012/9/2 10:11

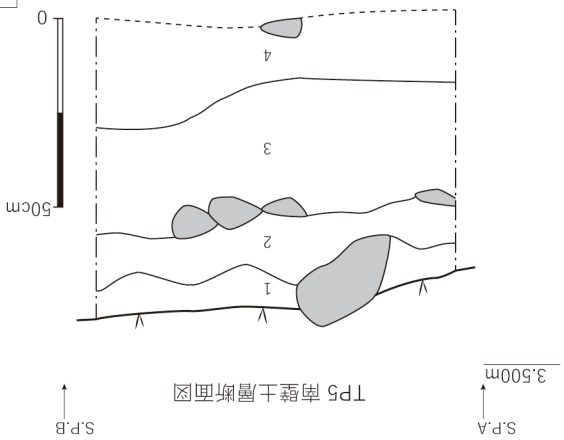

掘1層(分1層)
(壁面清掃)
掘2層(分2層)
掘3層
(分3層上半部)
3
12
T
G(23+34+40+44)
H(21)
36
37
18
I(43)
J(21)
掘3層(分3層下半部～分4層上半部)
掘2層(分2層)
6
掘3層(分4層上半部)
38-1
38-3
30
掘3層(分3層～分4層上半部)
TP4出土　土器・石器
スケール50mm

10.TP5の発掘





掘り下げ層位	分層層位
1層	1層
2層	2層
3層	3層
4層	4層



TP5土層注記

1層：10YR2/3．黒褐色．細砂．粘性弱．しまり弱．直径5cm～10cmの亜角礫や角礫が少量含まれる．

2層：2.5YR5/4．にぶい黄褐色．細砂．粘性弱．しまり弱．3層に近づくにつれて直径5cm～30cmの礫が少量含まれる．

3層：10YR2/4．黒褐色．砂質シルト．粘性やや弱．しまり中．直径5cm～30cmの亜角礫・角礫が多量に含まれる．3層中に貝ブロックが検出された．貝種はイガイで、貝殻は破砕されていた．

4層：10YR5/4．にぶい黄褐色．砂質シルト．粘性やや強．しまりやや弱．直径3mm～15cmの円礫・亜角礫・角礫が多量に含まれる．今調査では本層およそ20cm掘り下げた深度で掘り下げを止めた．

（記録：勝木・徳永・大西）



TP5 南壁土層断面　2012/9/1 17:26



西壁土層断面　2012/9/1 17:24



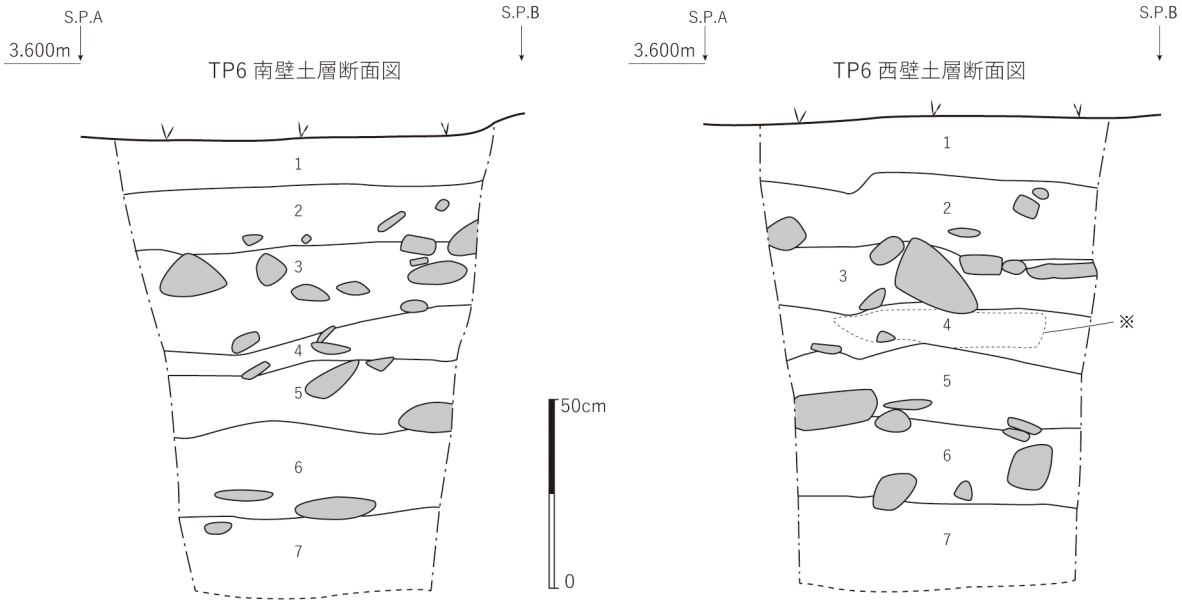
TP5 発掘状況(北西側から)　2012/8/31 14:32



TP5 貝層ブロックの検出状態(北東側から)
2012/9/1 12:8


2
4
3
10
掘2層(分2層)
6
12
13
5
15
掘3層(分3層)
20
掘3層(分3層)中の貝層ブロック
掘3層(分3層)
16
8
TP5出土　土器・石器・動物骨(鹿角)
スケール50mm

11.TP6の発掘



TP6土層注記

1層:10YR2/2. 黒褐色. 砂質シルト. しまり中. 粘性やや弱. 遺物が若干出土. 直径2～15cmの亜角礫を少量含む.

2層:10YR3/4. にぶい黄褐色. 細砂. 粘性弱. しまりやや弱. 直径5～30 cmの亜角礫を多量に含む. 遺物が若干出土.

3層:10YR4/4. 褐色. 細砂. 粘性弱. しまり弱. 直径5～30 cmの亜角礫を多量に含む. 遺物が若干出土.

4層:10YR2/1. 黒色. 細砂. 粘性やや弱. しまりやや弱. 直径1cm未満の炭化物粒を微量に含む. 遺物が上面で8点ほどまとまって出土. 直径2～10cmの亜角礫を少量含む.

※印:焼土粒(5YR4/4 にぶい赤褐色)を多く含む範囲. ブロック状に焼骨片を少量含む.

5層:10YR5/6. 黄褐色. 細砂層. 粘性弱. しまり弱. 遺物が若干出土. 直径2～20cmの亜角礫をごく多量に含む.

6層:10YR5/4. にぶい黄褐色. 細砂層. 粘性弱. しまり弱. 遺物が若干出土. 動物骨が1点出土. 直径2cm～20cmの亜角礫をごく多量に含む.

7層:2.5Y4/3. オリーブ褐色. 細砂層. 粘性弱. しまり弱. 直径1～3cmの炭化物を微量に含む. 遺物が若干出土. 直径2cm～10cm程度の亜角礫を少量含む.

(記録:高野・佐々木)



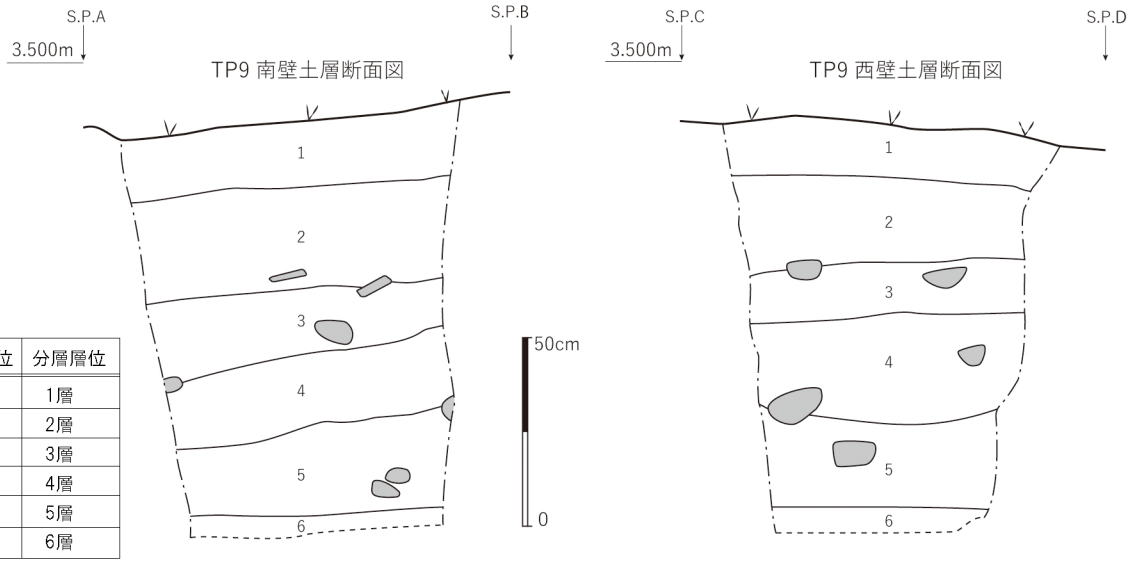


TP6 西壁土層断面　2012/9/2 17:02





12.TP9の発掘



掘り下げ層位	分層層位
1層	1層
2層	2層
3層	3層
4層	4層
5層	5層
6層	6層

TP9土層注記

1層：表土層．10YR3/2．黒褐色．砂質シルト．粘性やや弱．しまり中．植物の根を多量に含む．

2層：2.5Y4/2．暗灰黄色．細砂．粘性やや弱．しまりやや弱．直径3～10cmの円礫･亜角礫を多量に含む．直径3～5cmの暗褐色細砂をブロック状に含む．下部の色調がやや明るい．

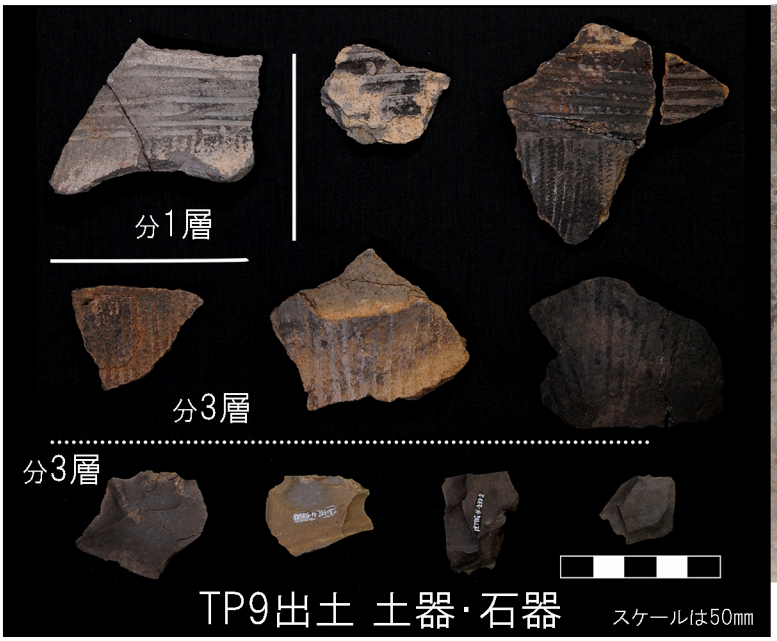
3層：2.5Y4/3．オリーブ褐色．細砂．粘性弱．しまりやや弱．直径5～15cmの亜角礫を多量に含む．上部に黒褐色細砂層が入る部分がある(厚さ4cm程度)．黒褐色細砂層の中に直径5㎜～2cm程度の炭化物粒が少量含まれる．

4層：5Y4/4．暗オリーブ色．細砂．粘性弱．しまり弱．直径5～10cmの亜角礫をやや多量に含む．

5層：2.5Y4/3．オリーブ褐色．細砂．粘性弱．しまり弱．直径10～25cmの亜角礫を多量に含む．

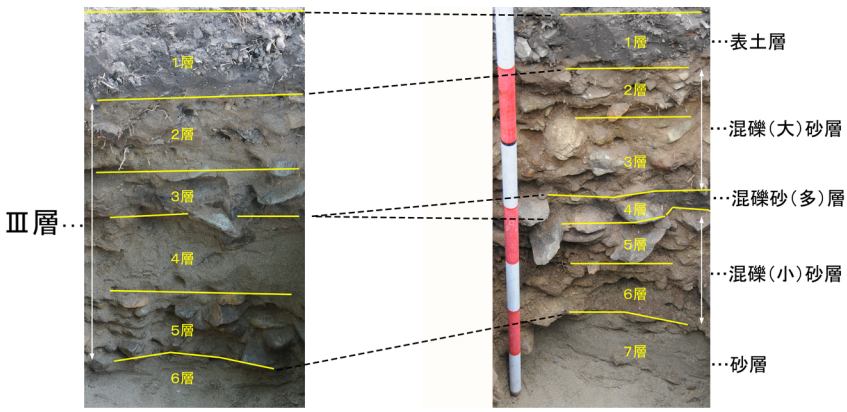
6層：TP6の7層に類似する層(土色、土質、しまり、粘性、内容物)

(記録：飯浜･高野)





TP9 西壁土層断面　2012/9/3 15:17

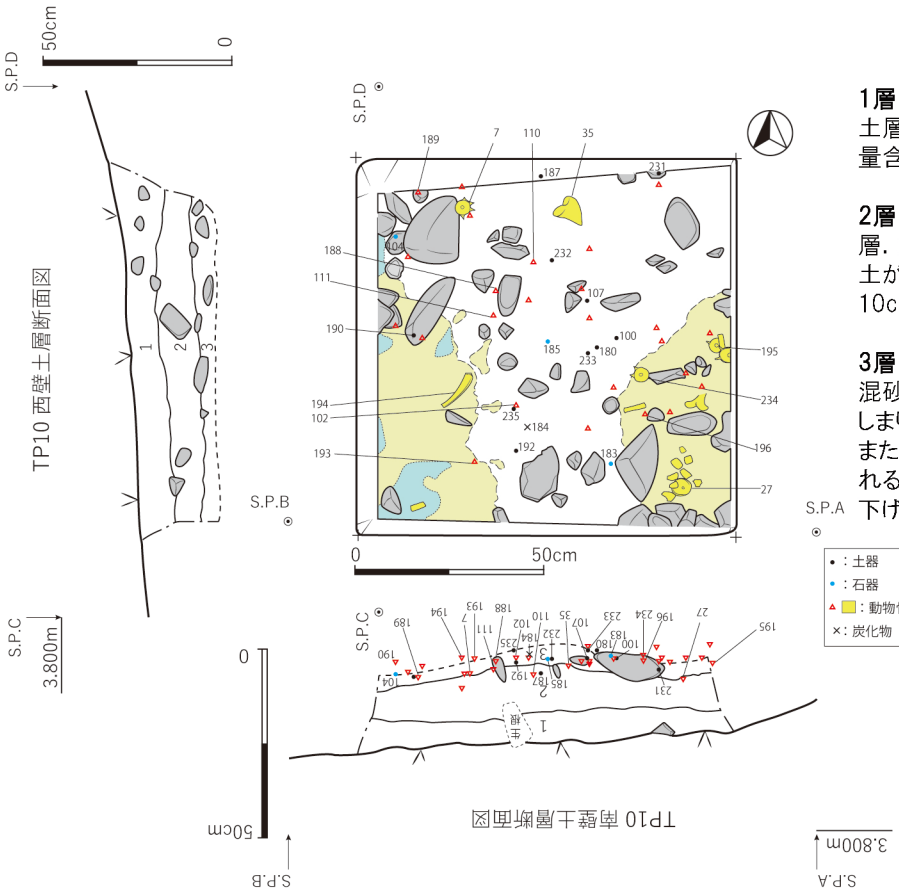


TP9(南壁：左)とTP6(南壁：右)との土層対比



TP9設定場所の準備(右隅はTP6)
2012/9/2 14:11

13.TP10の発掘



TP10土層注記

1層：10YR2/2. 粘性普通. しまり普通. 表土層. 直径5cm～6cmの円礫亜角礫が少量含まれる.

2層：10YR2/3. 粘性弱. しまり弱. 混砂土層. 鈍い黄褐色, 粘性強, しまりやや弱の土がブロック状に含まれる. 直径5cm～10cmの円礫, 角礫が少量含まれる.

3層：10YR1.7/1. 粘性弱. しまりやや弱. 混砂土層. 2層でみられたものと同じ粘性としまりの強い土のブロックが少量含まれる. また南東と南西の角に黄褐色の砂がみられる. 砂に貝や骨が多量に含まれる. 掘り下げは砂の上面で止める.

（記録：勝木・佐々木）

掘り下げ層位	分層層位
1層	1層 2層
2層	3層



TP10 掘り下げ最下底面（東側から）
2013/8/25 16:18



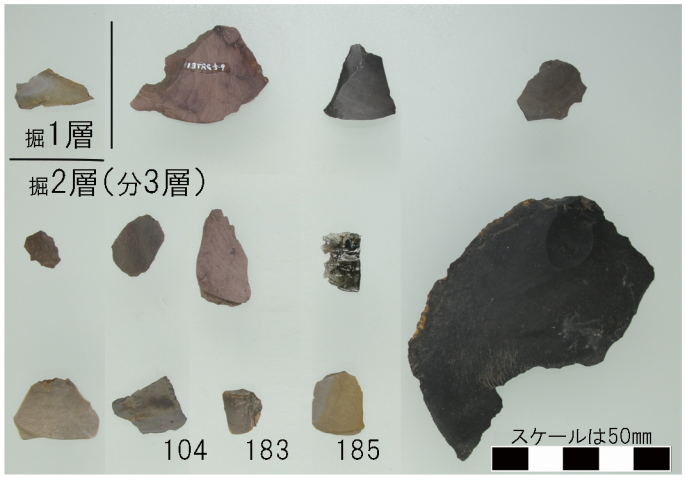
3層中、イルカ椎骨(195,234)出土状態
2013/9/2 10:14

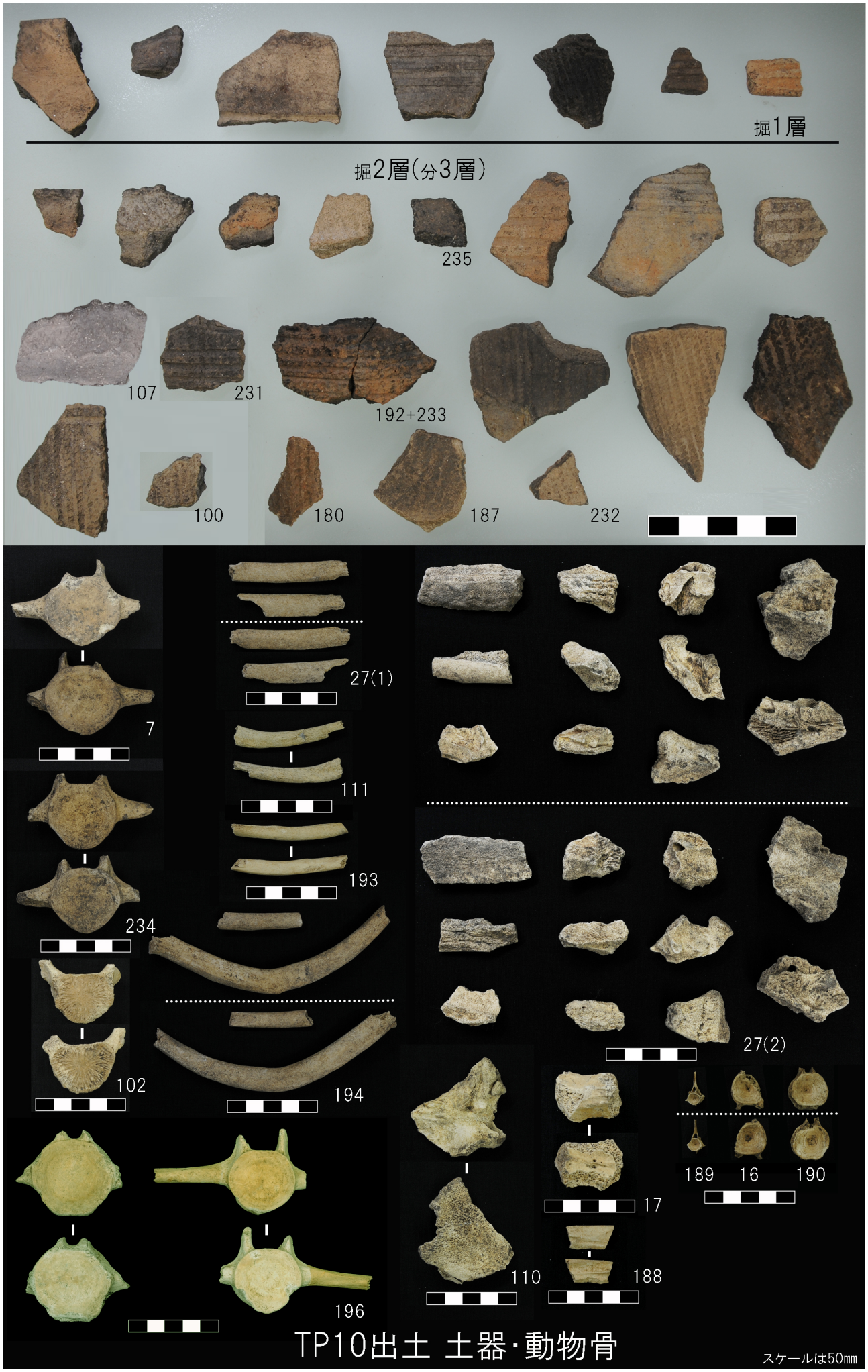


西壁土層断面　2013/8/27 13:48



南壁土層断面　2013/8/27 13:51




掘1層
掘2層(分3層)
235
107
231
192+233
100
180
187
232
27(1)
7
111
193
234
102
194
196
27(2)
189
16
190
17
110
188
TP10出土 土器・動物骨
スケールは50㎜

14.TP11の発掘

TP11土層注記

1層・1a層(表土層)：10YR2/2. 黒褐色. 砂質シルト. 粘性やや強. しまりやや強. 直径5cm程度の礫を少量含む.

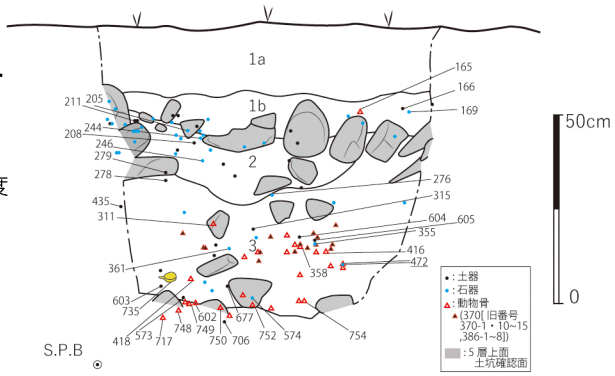
1b層：7.5TR2/2. 黒褐色. 砂質シルト. 粘性中. しまり中. 遺物出土. 直径5cm～20cm程度の亜角礫、円礫を多量に含む.

2層(土坑覆土1層)：10YR2/3. 黒褐色. 細砂. 粘性中. しまりやや弱. 直径2mm～4mm程度の骨片を少量含む. 直径5cm～30cm程度の亜角礫, 円礫を多量に含む.

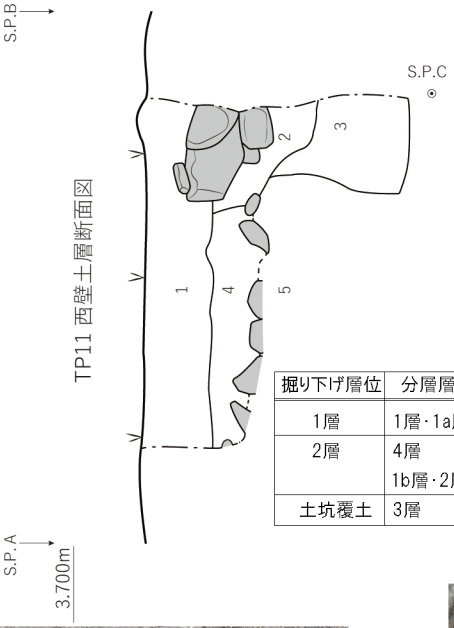
3層(土坑覆土2層)：10YR3/4(暗褐色)～7.5YR2/3(極暗褐色). 細砂. 粘性やや弱. しまり弱. 直径2mm～2cm程度の骨片を少量含む. 直径5cm～20cm程度の亜角礫、円礫を多量に含む. 直径3mm～10mm程度の炭化物を微量に含む.

4層：5YR1.7/1. 黒色. 砂質シルト. 粘性やや強. しまり中. 遺物出土. 直径5cm～10cmの亜角礫を多量に含む. 直径1mm～2mm程度の炭化物を微量に含む. (記録：岡田)

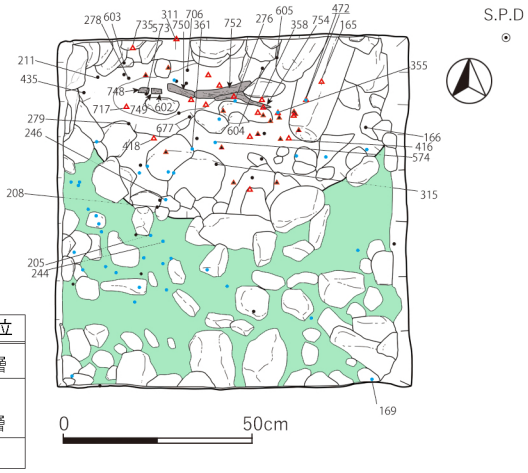
TP11 北壁土層断面図



TP11 西壁土層断面図



掘り下げ層位	分層層位
1層	1層・1a層
2層	4層
	1b層・2層
土坑覆土	3層





TP11 掘り下げ2層(分4層)中、土坑輪郭の確認
(東側から 2013/8/24 16:42)



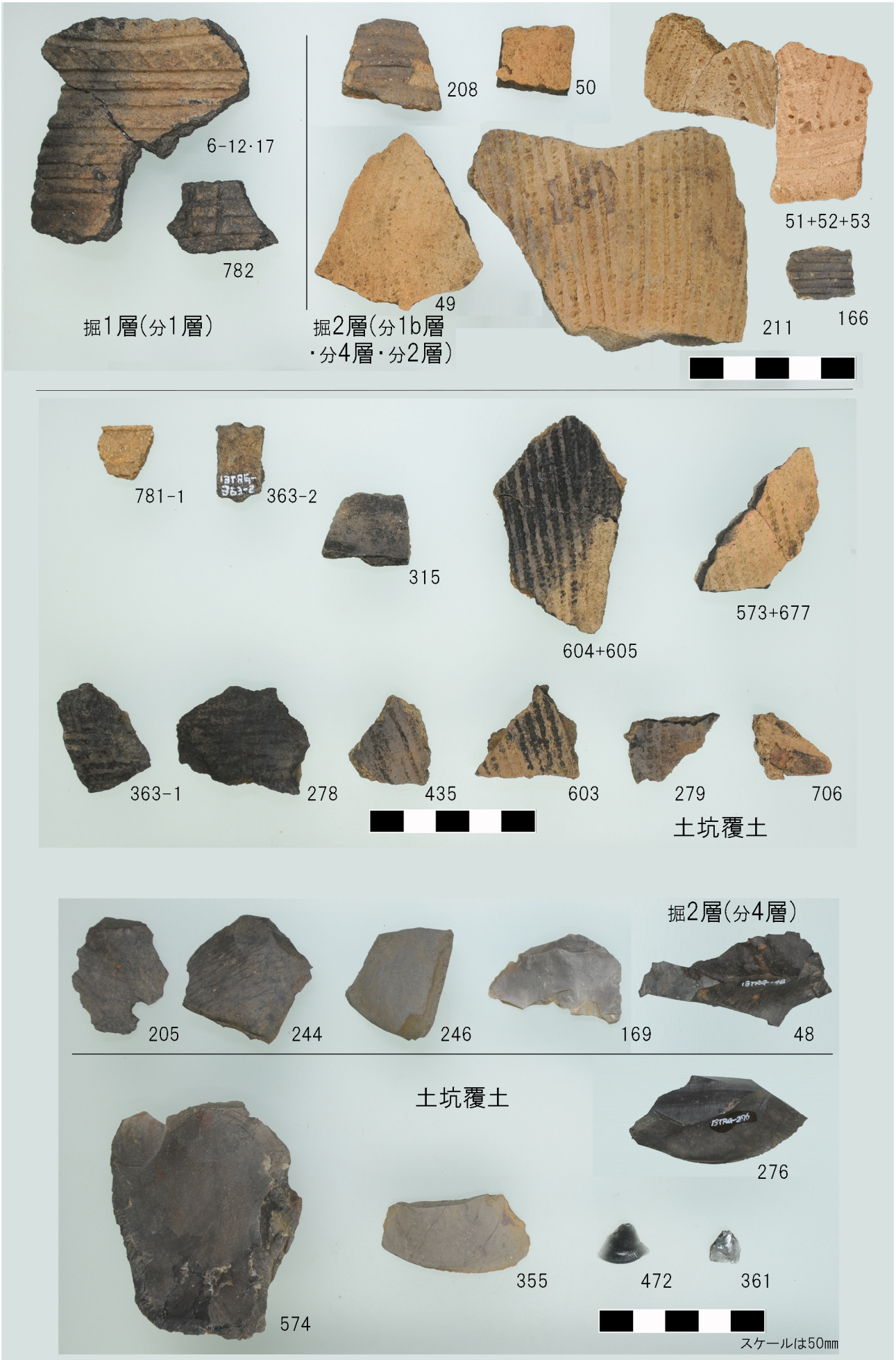
TP11 土坑覆土掘り下げ途中
(418出土状態 北側から 2013/8/28 11:59)



←土坑底面付近でイルカ頭骨(750,752+754)の出土
(北側から 2013/9/1 14:21)



TP11 西壁土層断面 (2013/9/1 14:10)



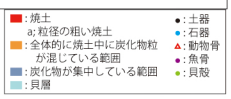
TP11出土の土器・石器

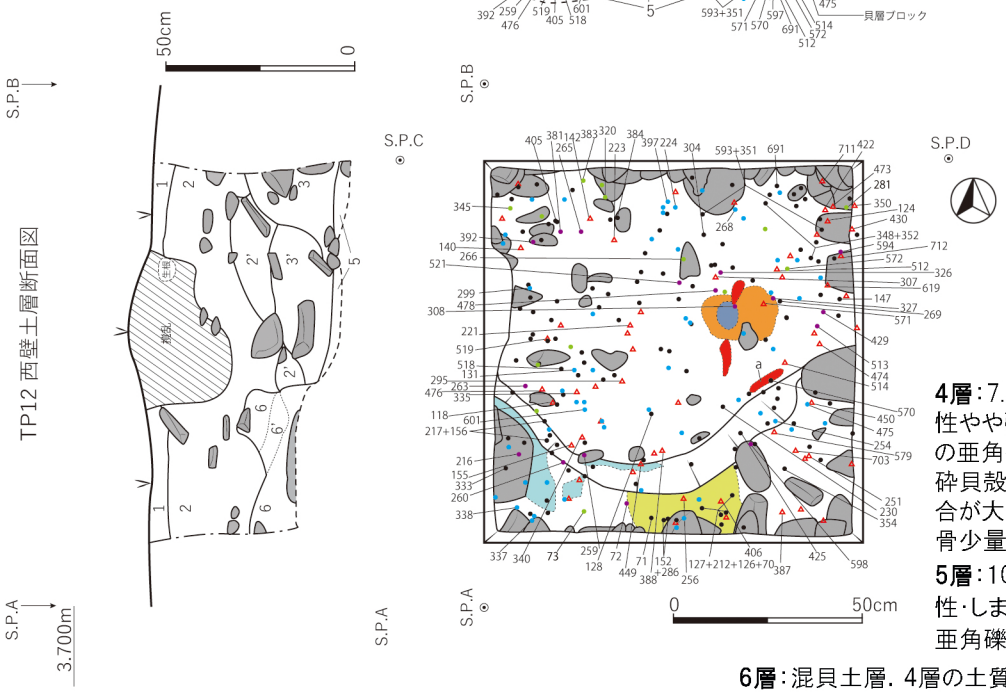

165
掘2層(分1b層)
311
363
358
416
472(2)
370
370(1)
370(2)
472(1)
717
735
750
602+748+749
770
418
752+754
土坑覆土
スケールは50㎜

TP11出土の動物骨

15.TP12の発掘

掘り下げ層位	分層層位
1層	1層
2層	2層
3層	2'層・3層
4層	3'層・4層・3層の一部・6層・6'層
床面清掃	5層





TP12 土層注記

1層:10YR2/2. 黒褐色砂質シルト. 粘性·しまり中.

2層:7.5YR2/2. 黒褐色砂質シルト. 粘性·しまり強. 直径5～10cmの亜角礫を含む.

2'層(粘土ブロック):10YR4/1. 褐灰色シルト. 粘性強. しまりやや強.

3'層:10YR2/3. 黒褐色細砂. 粘性やや強. しまり中.

3層:7.5YR3/1. 黒褐色細砂. 直径2～5cmの亜角礫を少量含む. 粘性やや強. しまり中. 破砕貝殻をやや多く含む. 動物骨やや多·魚骨少量含む.

4層:7.5YR3/1. 黒褐色細砂. 粘性やや強. しまり中. 直径5～10cmの亜角礫を含む. 3a層に比べて破砕貝殻の含有量が少なく, 礫の割合が大きくなる. 動物骨やや多·魚骨少量.

5層:10YR3/4. 暗褐色細砂. 粘性·しまりやや弱. 直径5～10cmの亜角礫を含む. 魚骨やや多.

6層:混貝土層. 4層の土質に貝殻が混ざった状態.

6'層:10YR2/3. 黒褐色細砂ブロック. 粘性·しまり中.

(記録:高野·神田)



TP12 竪穴状遺構完掘状態(北側から)
(2013/9/1 13:47)



TP12 掘り下げ途中(東側から)
(2013/8/27 15:55)

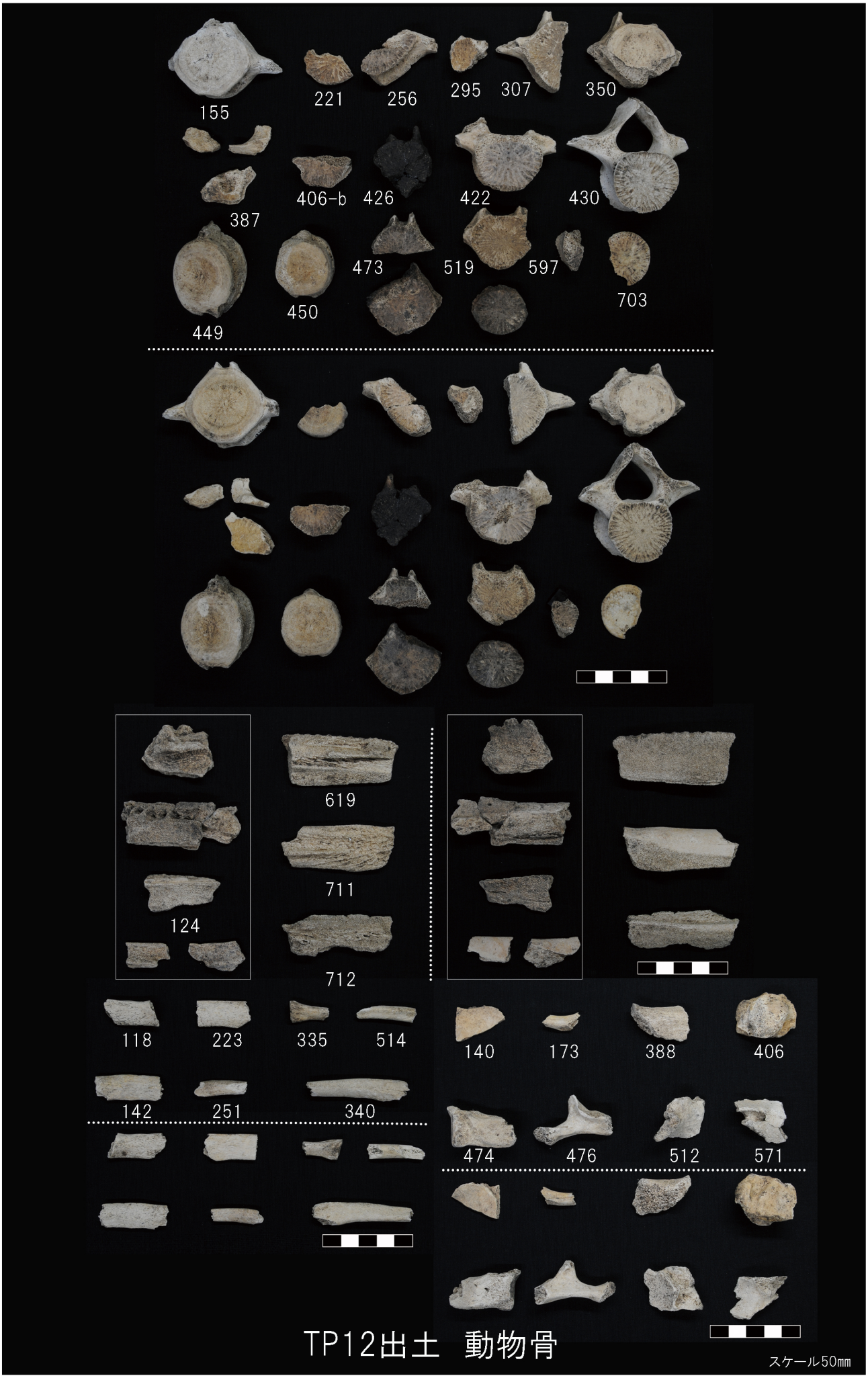


TP12 北壁土層断面 (2013/9/1 13:59)

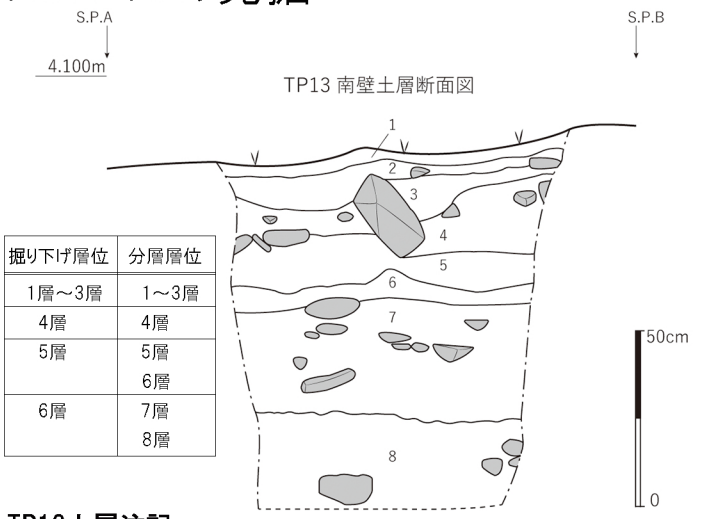


竪穴状遺構底面の焼土(北側から)
(2013/9/1 14:03)

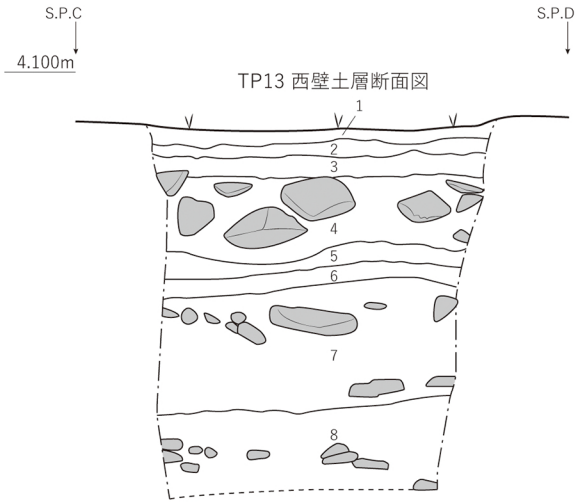

掘1層
掘2層
351+593
399
333
269
384
掘3層
掘4層
352
+348
570
405
691
304
354
518
425
397
338
131
785(掘1層[表土層])
601
268
254
54
299
66-10
224
475
337
TP12出土　土器･石器
スケール50mm


155
221
256
295
307
350
387
406-b
426
422
430
449
450
473
519
597
703
124
619
711
712
118
223
335
514
140
173
388
406
142
251
340
474
476
512
571
TP12出土　動物骨
スケール50mm

16.TP13の発掘



掘り下げ層位	分層層位
1層～3層	1～3層
4層	4層
5層	5層 6層
6層	7層 8層



TP13土層注記

1層：10YR2/3. 粘性やや弱い. しまり弱い. 表土層.

2層：5Y5/2. 粘性弱い. しまり強い. 混礫土層. 粗悪なセメントか.

3層：10YR3/1. 粘性弱い. しまりやや強い. 混貝土層. 土器･石器出土. ガラス片出土. 再堆積層.

4層：10YR5/6. 粘性弱い.しまり強い.風化した凝灰岩層(崩落層).(明黄褐色. 20～25cm)

5層：10YR3/2. 粘性やや強い. しまり弱い. 土器･石器出土.(淡黒色土層(混礫). 10cm)

6層：10TR4/2. 粘性強い. しまり中. テフラか. 遺物出土なし.(淡灰色. 5cm)

7層：10YR2/1. 粘性弱い. しまり弱い. 混土砂層. 土器･石器出土. 直径5～30cmの礫が多量に混じる.(淡黒色土層(混礫). 50cm.上部に礫層)

8層：10YR2/3. 粘性弱い. しまり弱い. 混土砂層. 直径5～30cmの礫が多量に含まれる.(上面礫層で水が湧く)

(記録：高瀬･瀧川)



TP13 南壁土層断面　2013/8/28 10:00



TP13 西壁土層断面　2013/8/27 17:06



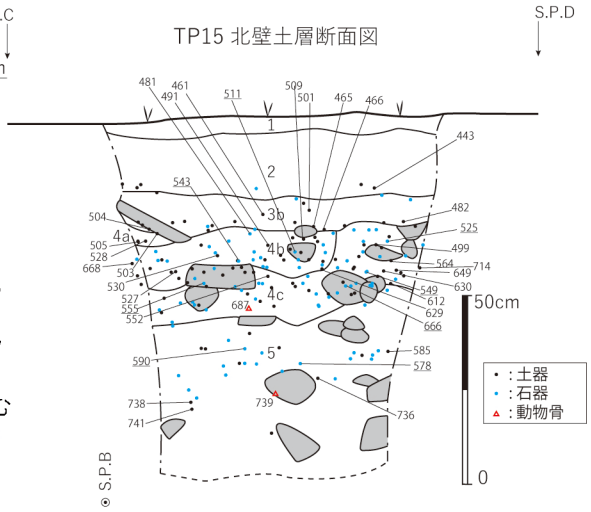


TP13の発掘状況
2013/8/25 16:36

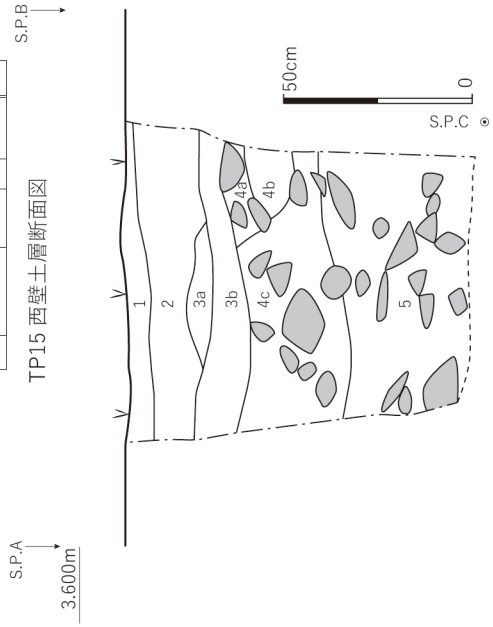
17.TP15の発掘

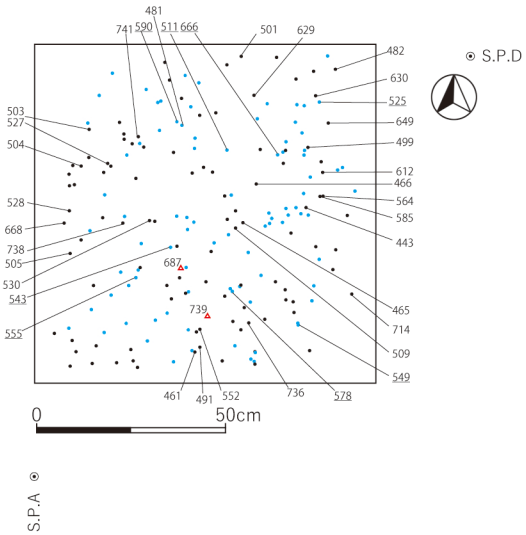
TP15土層注記

1層：7.5YR2/1．表土．黒色．しまり弱．粘性ややあり．
2層：10YR3/1．黒褐色．砂質シルト．しまりやや強．粘性ややあり．
3a層：2.5Y2/1．黒色．粘質土層．しまり強．粘性強．
3b層：10YR5/4．にぶい黄褐色．粘質土層．しまり強．粘性強．
4a層：10YR4/6．褐色．砂層．粒径5mmの砂．
4b層：10YR1.7/1．黒色．細砂．赤褐色，暗灰色がまだらに含まれる．
4c層：5YR3/6～5YR4/8．暗赤褐色～赤褐色．砂礫層．直径10cm～20cmの礫を多量に含む．粒径5mm程度の小石，1cm～2cmのバラスを多く含む．土器･石器が多量に出土．
5層：7.5YR4/4．褐色．砂礫層．直径10cm～25cmの礫を多量に含む．粒径1mm以下の細砂．土器、石器が少量出土．　（記録：渡邉）



掘り下げ層位	分層層位
1層	1層 2層上半部
2層	2層下半部
3層	3a層 3b層上半部
4層	3b層下半部 4層 5層上半部
5層	5層下半部







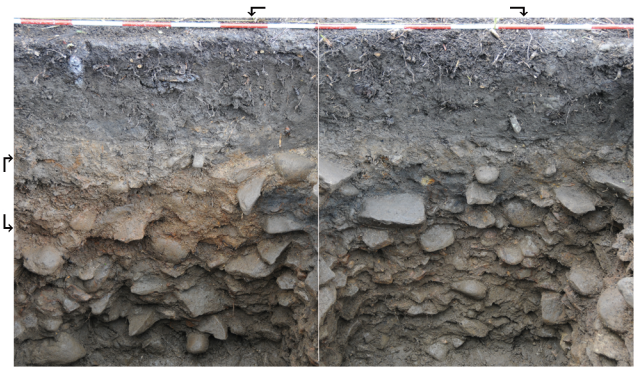
TP15西壁土層断面　（2013/9/2 13:39）



4層掘り下げ途中
（北東側から　2013/8/29 13:49）



TP15北壁土層断面　（2013/9/2 13:43）



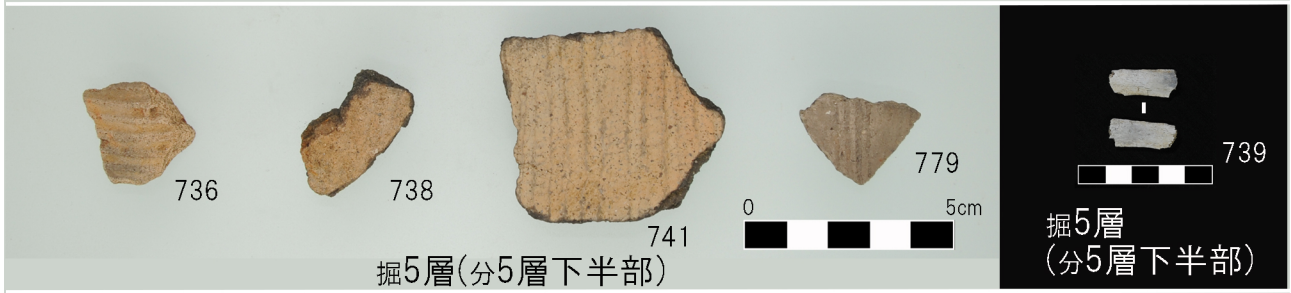
西壁～北壁土層断面での4b層の広がり
（2013/9/2　13:46-48）



掘1層　　掘2層(分2層下半部)



掘4層(分3b層下半部・4層・5層上半部)



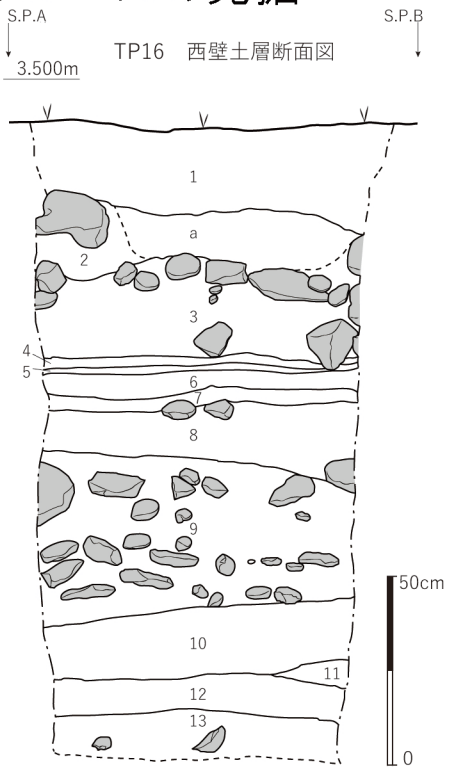
掘5層(分5層下半部)　　掘5層(分5層下半部)

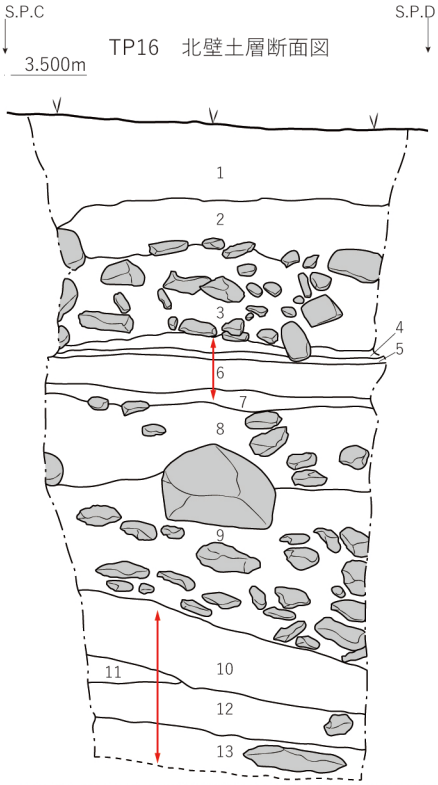


TP15出土の土器・石器・動物骨

スケールは50mm

18.TP16の発掘





TP16土層注記

1層：10YR2/3．黒褐色．砂質シルト．粘性やや強．しまりやや強．表土層．

2層：2.5YR4/2～5YR4/2．暗灰黄色．細砂．粘性弱．しまり中．直径2～25cmの礫を少量含む．

a層：2層と同じ層質であるが、乾燥すると白っぽくなる．遺構の覆土の可能性あり．礫の含有量も2層より少ない．

3層：2.5YR4/6～2.5YR4/3．オリーブ褐色．細砂．粘性弱．しまりやや弱．直径1～20cmの礫を多量に含む．

4層：10YR4/3．にぶい黄褐色．細砂．粘性弱．しまり弱．直径1～3cmの礫を少量含む．

5層：10YR4/2～10YR3/3．灰黄褐色～暗褐色．細砂．粘性中～やや弱．しまり中～やや弱．直径1mm～1.5cmの炭化物粒、直径1～3cmの焼土粒を微量に含む．遺物出土．

6層：2.5Y4/3～2.5YR4/4．オリーブ褐色．細砂．粘性弱．しまりやや弱．直径1～3cmの礫を少量含む．

7層：2.5Y3/3．暗オリーブ褐色．細砂．粘性やや弱．しまり中．直径1mm～1cmの炭化物粒、直径5mmの焼土粒を微量に含む．遺物出土．

8層：10YR3/4～5Y4/4．暗褐色～暗オリーブ色．細砂．粘性やや弱．しまりやや弱．直径1～15cmの礫を多量に含む．下半部から遺物出土．

9層：2.5YR4/3～10YR3/4．オリーブ褐色～暗褐色．細砂．粘性弱．しまりやや弱．直径1～30cm程度の礫を多量に含む．

10層：5Y4/2～2.5YR4/2．オリーブ色～暗灰黄色．細砂．粘性やや弱．しまりやや弱．直径1～3cm・5～10cmの礫を微量に含む．

11層：2.5Y4/2～10YR4/3．暗灰黄色～にぶい黄褐色．細砂．粘性やや弱～中．しまりやや弱．直径5mm～1cmの炭化物粒を微量に含む．遺物出土．

12層：2.5Y4/3～10YR4/4．オリーブ褐色～褐色．細砂．粘性弱．しまり中．直径3cm~10cmの礫を微量に含む．上位より遺物出土．

13層：10YR4/2～10YR3/3．灰黄色～黒褐色．粗砂．粘性やや弱．しまりやや弱．直径5mm～25cmの礫を少量含む．特に直径5mm～1cm程度の小さな礫が多い．

※礫はすべて円礫と亜角礫が混ざる．

（記録：高瀬・佐々木）



TP16掘3層上位(分5層対応)での焼土粒・炭化物粒の広がり（北側から）　2014/9/13 15:35



TP16 北壁土層断面　2014/9/19 15:50



掘3層下位、イルカ肋骨出土（東側から）　2014/9/15 16:26



同左(クローズ)　2014/9/15 16:33



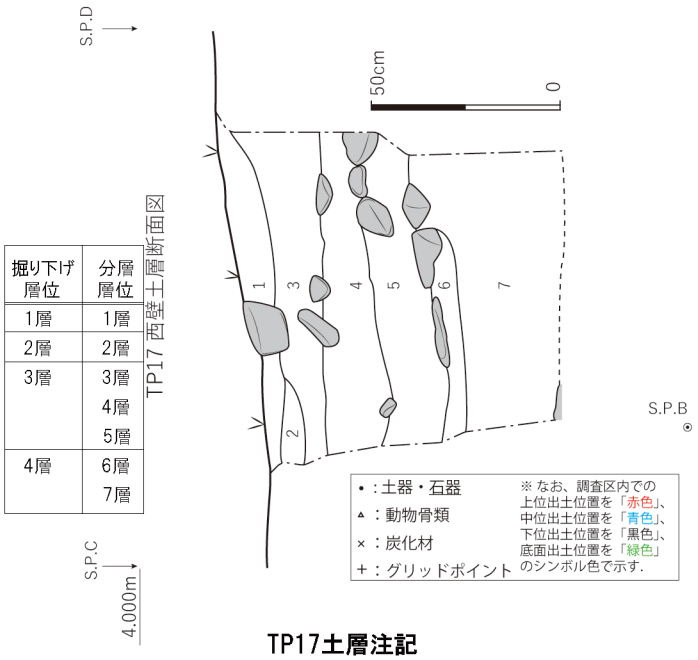
掘5層土器出土（分層12層上面近く）（南壁面）2014/9/19 9:26

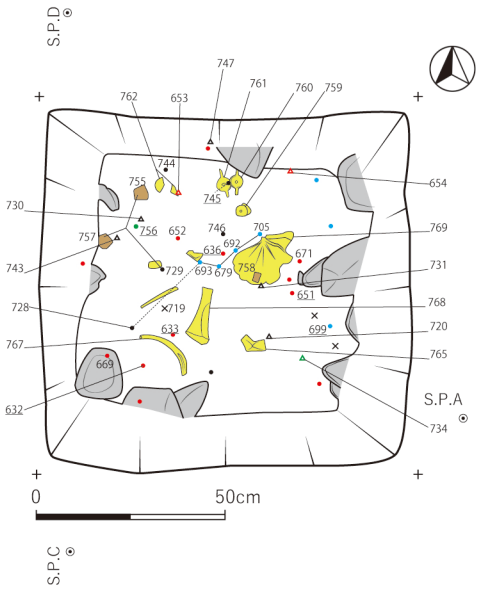
掘り上げ層位	分層層位
1層	1層
2層	2層 3層
3層（上位）	4層 5層
3層	6層
3層（中位）	7層
3層（下位）	8層
4層	9層
5層	10層 11層 12層 13層

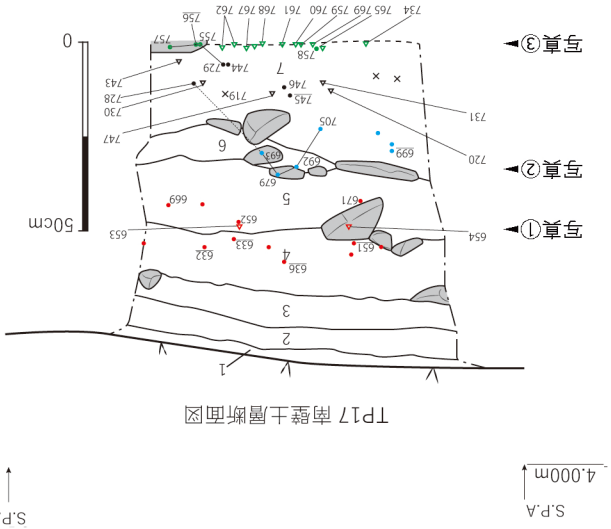




19.TP17の発掘







TP17土層注記

1層：10YR2/2. 表土. 黒褐色土層. 直径10～20cmの亜角礫と円礫が含まれる. 粘性低い. しまりなし.

2層：10YR5/3. 客土. 鈍い黄褐色. 直径1～2cmの角礫が多量に含まれる混礫砂層. 粘性なし. しまり強い.

3層：10YR2/3. 黒褐色混砂シルト層. 直径10～20cmの礫が多く含まれる. 粘性普通. しまり中. ガラス瓶出土.

4層：10YR2/3. 黒褐色混砂シルト層. 3層より砂の量が多く, シルト6割, 砂4割程度の割合である. 直径10～20cmの礫が含まれるが, 3層より少ない. 粘性非常に弱い. しまり弱い.

5層：10YR4/4. 褐色砂層. 直径5～20cmの礫が多量に含まれる. 粘性なし. しまりなし.

6層：10TR3/4. 暗褐色砂層. 直径5～10cmの礫が多量に含まれる. 粘性なし. しまりなし.

7層：10YR6/6. 明黄褐色. 直径5～15cmの礫が含まれる. 6層, 5層より礫が少ない. 粘性なし. しまりなし.

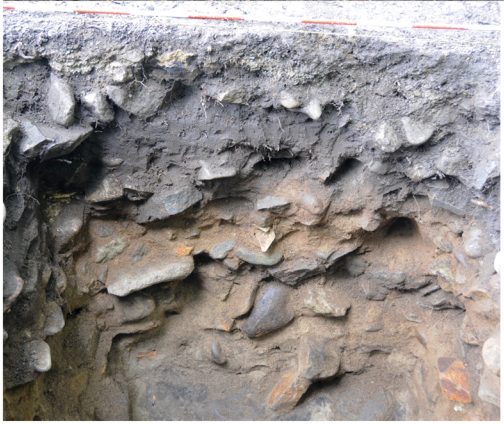
（記録：勝木・佐々木）



←写真①
掘り下げ途中
（分層5層上面,
東側から）
2013/8/29 15:44



写真②→
掘り下げ途中
（分層7層上面,
東側から）
2013/8/30 16:36



←写真④
TP17南壁
土層断面
2013/9/3 13:57



写真③→
掘り下げ最下底面
（分層7層上面,
東側から）
2013/9/2 12:44



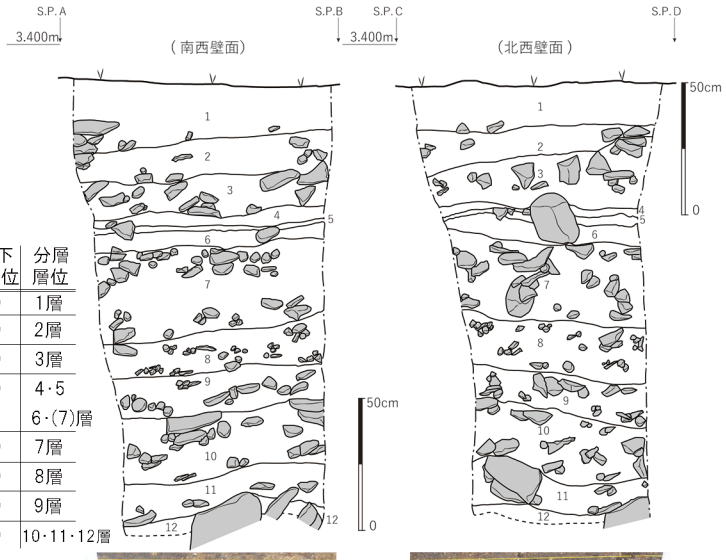
TP17出土　土器・石器

スケール50㎜


654
653
掘3層(分5層)
747
730
720
掘4層(分7層中部)
731
743(1)
743(2)
掘4層(分7層下部)
765
769(1)
769(2)
761
759
760
762
767
768
掘4層(掘り下げ最下底面)
TP17出土　動物骨
スケール50mm

20.TP20・TP27の発掘

TP20 土層断面図



掘り下げ層位	分層層位
1層	1層
2層	2層
3層	3層
4層	4・5
	6・(7)層
5層	7層
6層	8層
7層	9層
8層	10・11・12層



南西壁土層断面
2014/9/12 16:57



北西壁土層断面
2014/9/12 16:54

TP20土層注記

1層：10YR1.7/1．黒色．砂質土．粘性弱．しまり中．直径3～5cmの礫をわずかに含む．

2層：5YR3/2．暗褐色．中砂．粘性なし．しまり弱．直径3～8cmの礫を少量含む．

3層：10YR3/4．暗褐色．中砂．粘性なし．しまり弱．直径5～10cmの亜角礫を多量に含む．

4層：10YR4/6．褐色．中砂．粘性なし．しまり弱．直径4～6cmの礫を少量含む．

5層：10YR1.7/1～7.5YR2/2．黒色～黒褐色．砂質シルト．粘性弱．しまり中．礫なし．炭粒をわずかに含む．

6層：2.5Y5/6．黄褐色．中砂．粘性なし．しまり弱．礫なし．

7層：2.5Y5/6．黄褐色．中砂．粘性弱．しまり中．直径2～12cmの礫を多量に含む．

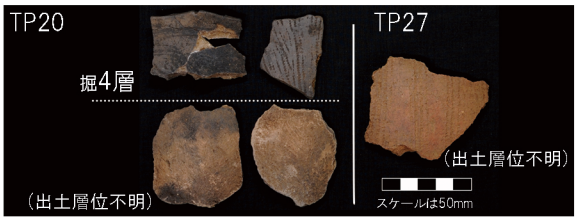
8層：4.5YR4/4．褐色．粗砂．粘性強．しまり中．直径1～5cmの礫を多量に含む．マトリックスとして1～5㎜の小礫を多量に含む．

9層：7.5YR3/3．暗褐色．中砂．粘性中．しまり中．直径5～10cmの礫を多量に含む．マトリックスとして1～3㎜の小礫を多量に含む．

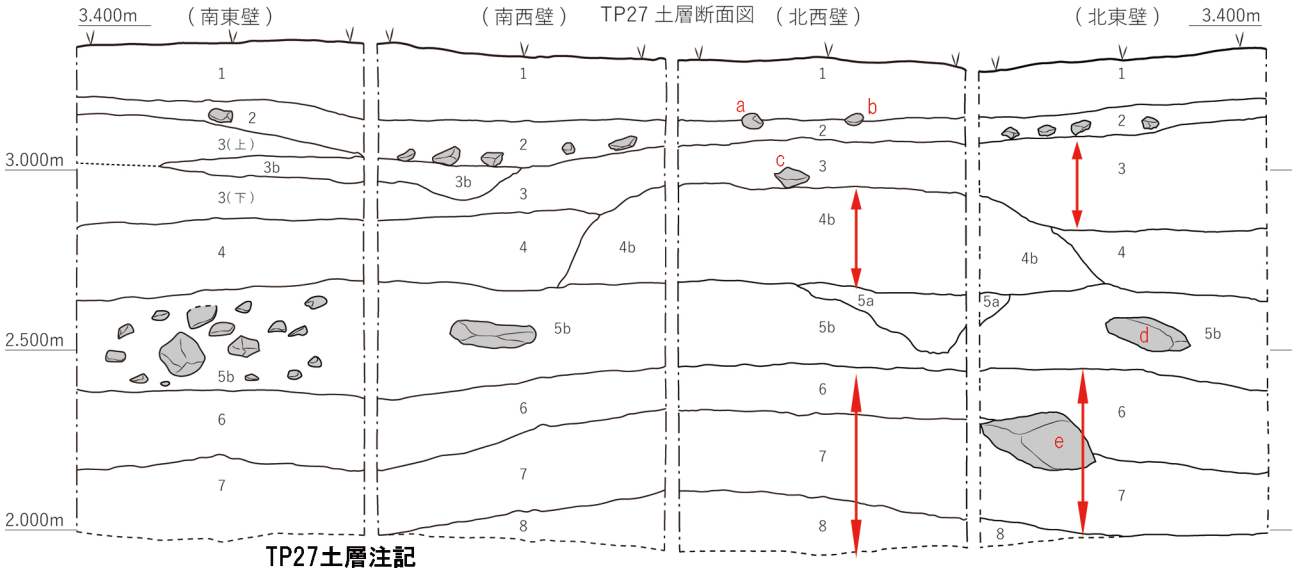
10層：10YR4/6．褐色．中砂．粘性なし．しまり弱．直径5～15cmの礫を多量に含む．マトリックスとして直径1～3㎜の小礫を多量に含む．

11層：10YR5/8．黄褐色．砂質シルト．粘性強．しまり中．直径15～20cmの礫を少量含む．マトリックスとして直径1㎜の小礫を多量に含む．

12層：10YR4/4．褐色．中砂．粘性なし．しまり弱．直径15～25cmの礫をわずかに含む．　（記録：今泉・佐々木・神田）



TP27 土層断面図



TP27土層注記

1層：10YR3/1．暗褐色砂層．土壌化が進む．「暗褐色シルト質細砂層」

2層：10YR4/4．やや赤みを帯びた茶褐色中～細砂層．礫を少量含む．(TP25、TP18の上位礫層に対応か)

3層：10Y5/6．明黄褐色中～細砂層．(東側のTP25・TP18へと向って、この砂層が急激に厚くなる．TP25の3層に対応．)(上)：やや茶色みがつよい．(下)：明るく黄色みがつよい．

3b層：暗茶褐色砂層．炭化物粒が少量含まれる．

4a層：礫層．ほぼ礫のみで構成．礫は径5～15cm(20cmもあり)の亜角礫．

※4層以下5層までの礫層ないしは6層砂利層までがTP25・TP18の下位の礫層に対応か．

4b層：10YR4/4．砂礫層(砂：礫は4：6～3：7)．全体的にボソボソして生根(細)を多く含む．暗茶褐色を呈す．礫は径3～5cmが多い(10cm前後も含む)．

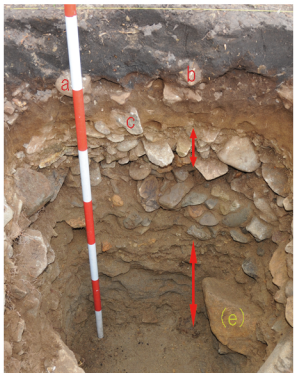
5a層：10YR5/6．礫層(砂：礫は5：5．礫は径5～10cm．)

5b層：10YR5/6．砂礫層(砂：礫は6：4)．明灰褐色の中～細砂．礫は径5～10cm．(TP25の4層に対応か)「混礫砂層」

6層：砂利層．全体的に黄褐色．砂10YR5/6(5層よりもやや黄色が強い．砂：小礫は6：4)．礫は径1～3cmで、角礫状のものを含む．「混小礫砂層」

7層：10YR5/4~2.5Y5/3．明灰褐色中～細砂層(5層の砂に類似)．(TP25の5層に対応．)

8層：10YR5/6．砂利層(小礫に影響され黄味を強く感じる．砂は黄褐色．6層類似．砂：小礫は5：5)．「混小礫砂層」　（記録：小杉）

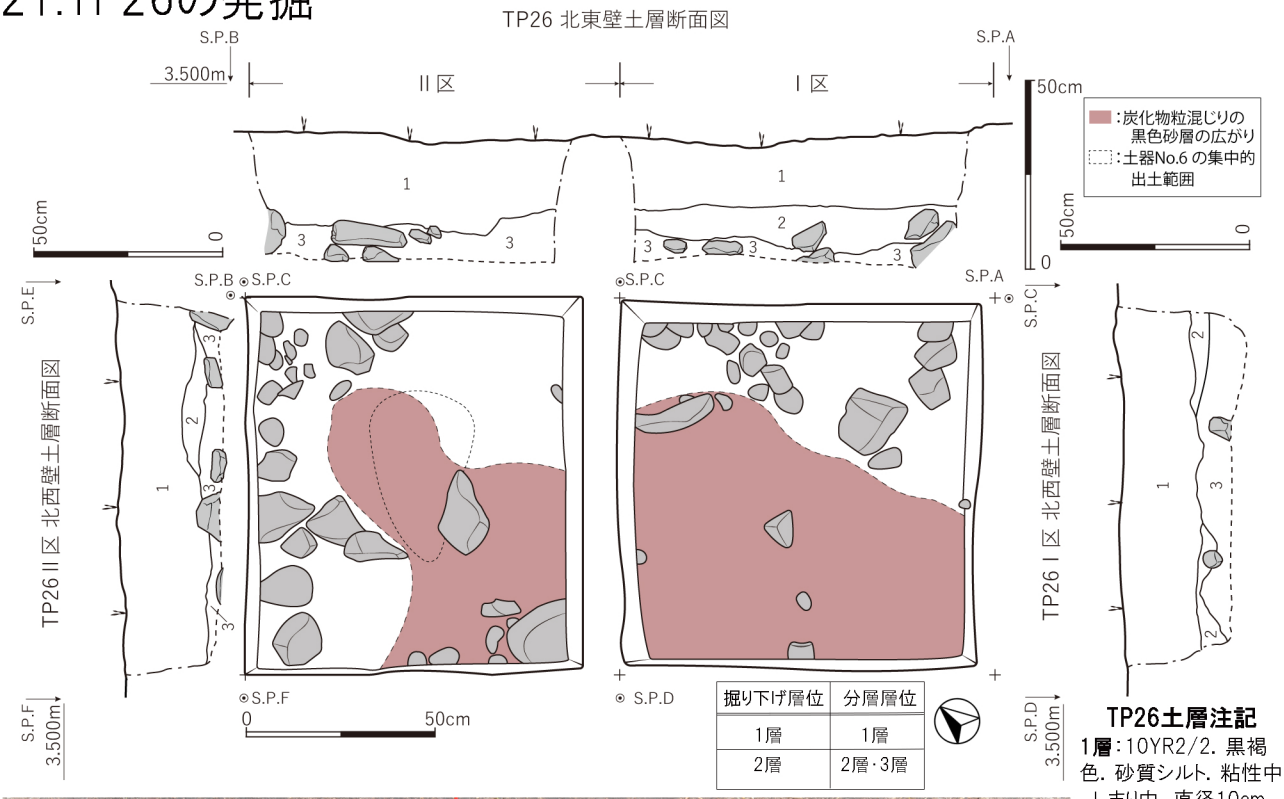


北西壁土層断面
2014/9/15 15:37



北東壁土層断面
2014/9/15 15:38

21.TP26の発掘



TP26土層注記

1層：10YR2/2．黒褐色．砂質シルト．粘性中．しまり中．直径10cmの礫を微量に含む．表土層．

2層：5Y2/2～10YR3/3．オリーブ黒色～暗褐色．細砂．粘性やや弱．しまりやや弱．直径5～15cmの円礫・亜角礫をやや多量に含む．遺物出土．

3層：2.5YR4/3～2.5Y4/2．オリーブ褐色～暗灰黄色．細砂．粘性弱．しまり弱．直径3～25cmの亜角礫・円礫を多量に含む．遺物出土．



TP26　I区(右)・II区(左)：北東壁土層断面と掘2層中(分3層上部)での炭化物粒混じりの黒色砂層の広がり　　2014/9/16 14:02



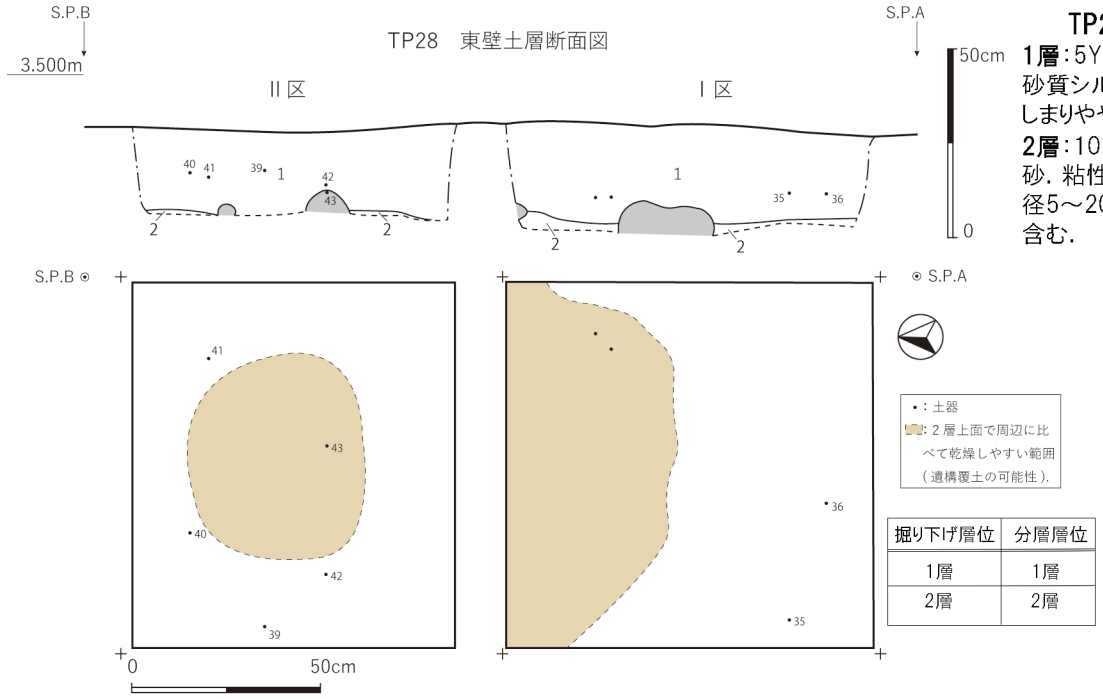
I区掘1層(表土層)の掘り下げ　2014/9/13　10:58



TP26　現地説明会(礼文華小学校児童の体験学習)　　2014/9/17　13:20



22.TP28の発掘

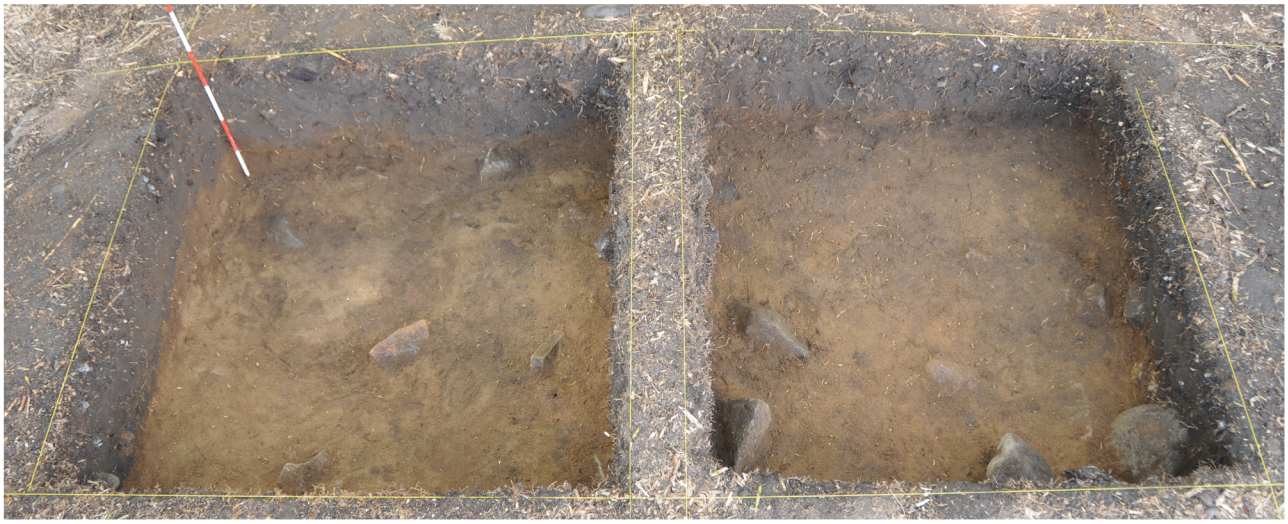


TP28土層注記

1層：5YR2/2. 黒褐色. 砂質シルト. 粘性やや強. しまりやや弱. 表土層.

2層：10YR4/4. 褐色. 細砂. 粘性弱. しまり弱. 直径5～20cmの礫を少量含む.

掘り下げ層位	分層層位
1層	1層
2層	2層



TP28　I区(左)・II区(右)(西壁土層断面)　2014/9/20 12:00

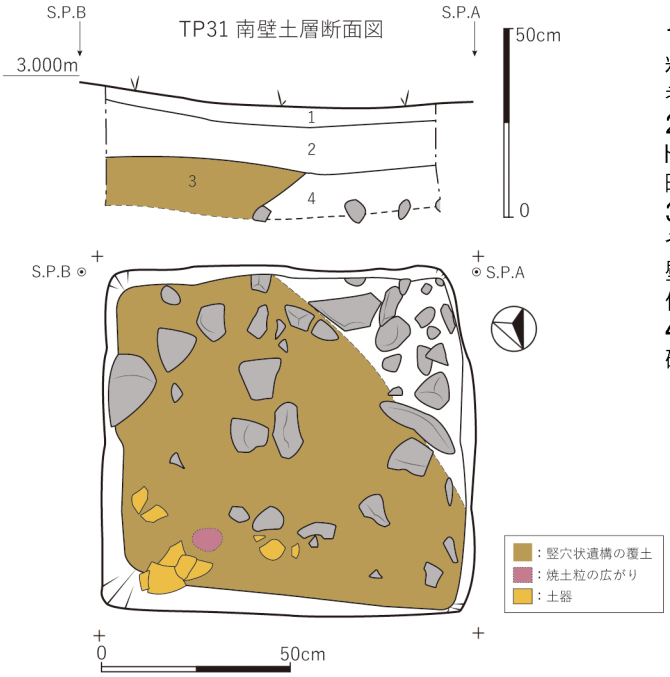


TP28出土 土器・石器



TP28 発掘状況(東側から)　2019/9/18 14:40

23.TP31の発掘



TP31土層注記

1層：10YR2/3～2.5Y2/1．黒褐色～黒色．砂質シルト．粘性やや弱．しまりやや弱．生根をやや多量に含む．（備考：暗黒褐色系土層）

2層：7.5YR3/1～10YR1.7/1．黒褐色～黒色．砂質シルト．粘性やや強．しまり中．生根をやや多量に含む．（備考：暗黒褐色系土層）

3層：7.5YR1.7/1～10YR1.7/1．黒色．砂質シルト．粘性やや強（東壁3層よりも粘性が多少強い）．しまりやや強（東壁3層よりも多少弱い）．直径5～30cmの礫をやや含む．（備考：墓あるいは竪穴状遺構の覆土か）

4層：10YR3/3．暗褐色．砂．粘性やや弱．しまりやや弱．礫を多量に含む．（備考：黄色系砂層）

（記録：早川・杉村・一井・川原・森田・佐藤）



TP31 南壁土層断面（西半部）
2019/9/12 11:08



TP31 掘り下げ最下底面（北側から）
2019/9/12 11:13



掘り下げ最下底面での焼土粒の広がり（南側から）2019/8/30 16:59

掘り下げ層位	分層層位
1層	1層
2層	2層
3層	3層 4層



TP31の発掘状況
2019/8/30 11:13



TP31出土土器

24.TP37の発掘

掘り下げ層位	分層層位
1層	1層 2層
2層	3層 3a層

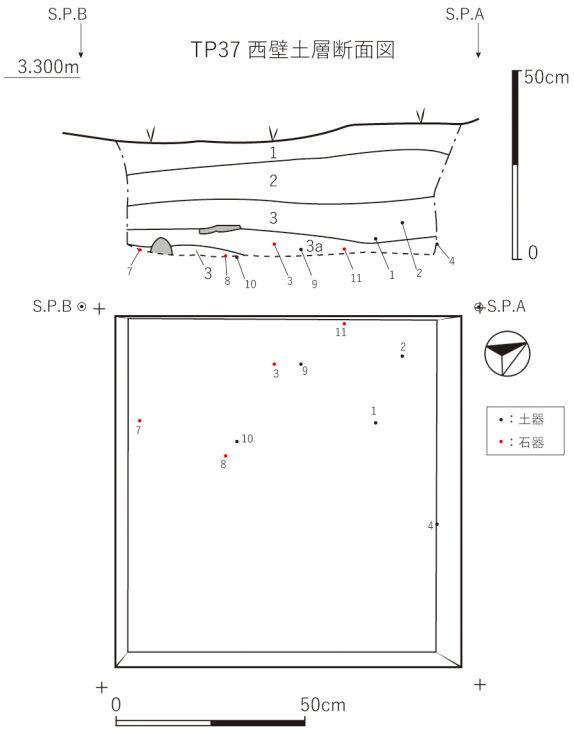
TP37土層注記

1層：10YR2/2～10YR3/1．黒褐色．砂質シルト．粘性中．しまり弱．生根を多量に含む．

2層：10YR2/3～10YR2/2．黒褐色．砂質シルト．粘性やや弱．しまりやや弱．生根を少量含む．

3層：10YR3/4～10YR4/2．暗褐色～灰黄褐色．細砂．粘性弱．しまり中．直径1cmの軽石を多量に含む．直径5cm~10cmの礫を少量含む．

3a層：7.5YR1.7/1．黒色．細砂．粘性弱．しまりやや強．直径1cm程度の炭化物を多量に含む．





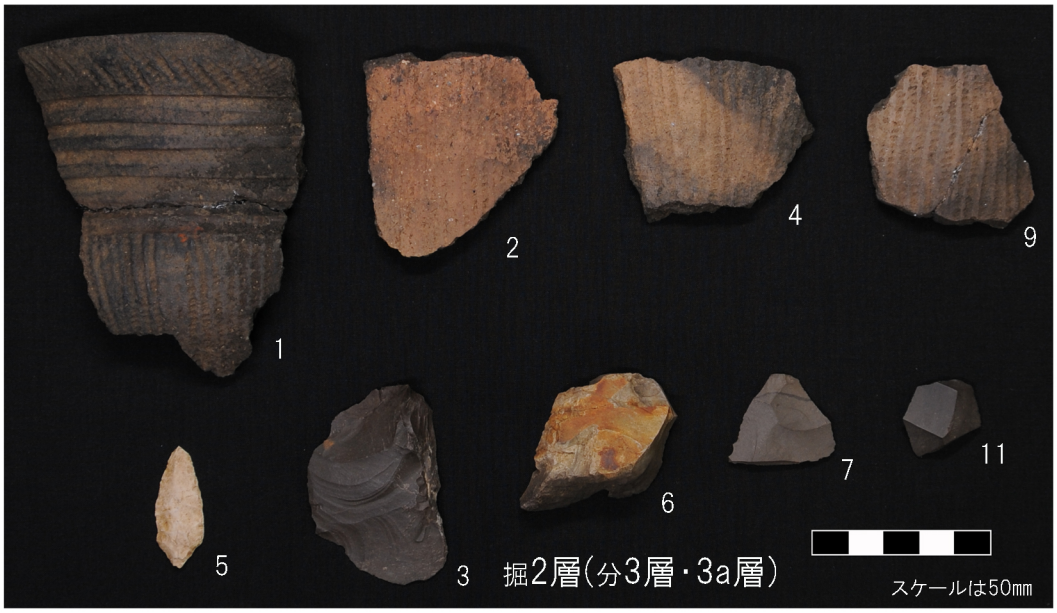
TP37 発掘状況　2019/9/12 16:28



TP37 南壁土層断面　2019/9/12 14:53



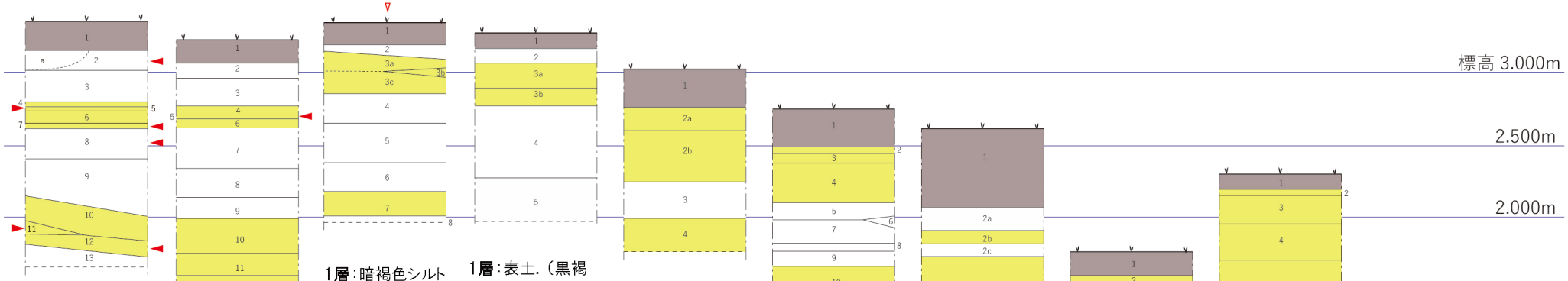
西壁土層断面　2019/9/12 14:49



TP37出土 土器・石器

25.遺跡東限の範囲確認調査

TP16 TP20 TP27 TP25 TP18 TP24 TP23 TP19 TP21 TP22



1層：黒褐色．砂質シルト．
2層：暗灰黄色．細砂．
a層：遺構の覆土の可能性あり．
3層：オリーブ褐色．細砂．礫を多量に含む．
4層：にぶい黄褐色．細砂．
5層：灰黄褐色～暗褐色．細砂．
6層：オリーブ褐色．細砂．
7層：暗オリーブ褐色．細砂．
8層：暗褐色～暗オリーブ色．細砂．礫を多量に含む．
9層：オリーブ褐色～暗褐色．細砂．礫を多量に含む．
10層：オリーブ色～暗灰黄色．細砂．
11層：暗灰黄色～にぶい黄褐色．細砂．
12層：オリーブ褐色～褐色．細砂．
13層：灰黄色～黒褐色．粗砂．

1層：砂質土．
2層：暗褐色．
3層：暗褐色．中砂．亜角礫を多量に含む
4層：褐色．中砂．
5層：黒色～黒褐色．砂質シルト．
6層：黄褐色．中砂
7層：黄褐色．中砂．礫を多量に含む．
8層：褐色．粗砂．
9層：暗褐色．中砂．
10層：褐色．中砂．
11層：黄褐色．砂質シルト．
12層：褐色．中砂．



TP20土層注記(今泉)2014/9/20 16:06 ↑
TP20土層実測(神田)2014/9/20 13:29 →

1層：暗褐色シルト質細砂層
2層：やや赤みを帯びた茶褐色中～細砂層．
3a・c層：明黄褐色中～細砂層
3b層：暗茶褐色砂層．
4a層：礫層．
4b層：砂礫層
5a層：礫層
5b層：砂礫層
6層：砂利層
7層：明灰褐色中～細砂層
8層：砂利層

1層：表土．（黒褐色）
2層：暗褐色砂層．（礫を多量に含む）
3層：褐色砂層．下部の方が若干色調が暗い．
4層：暗褐色砂層．（礫が特に多い）．
5層：暗褐色砂層．



1層：表土．黒褐色．
2層：暗褐色細砂層．
3層：暗褐色砂層．礫を多量に含む．
4層：暗褐色砂層．

1層：表土層
2層：灰褐色砂層．
3層：黒褐色砂層．（礫を含む）．
4層：暗褐色砂層．（直径3～5cm程度の小さな亜角礫が特に多い）．
5層：暗褐色砂層．（礫が特に多い）．
6層：明褐色砂層．
7層：暗褐色砂層．（礫を多量に含む）．
8層：褐色砂層．
9層：暗褐色砂層．（直径3～5cm程度の小さな亜角礫が特に多い）．
10層：暗褐色砂層．
11層：暗褐色砂層．（礫を多量に含む）．

TP23土層精査(渡辺)→
2014/9/12 9:00



1層：表土．（黒褐色）
2a層：暗褐色砂層．
2層：暗褐色砂層．（礫を多量に含む）．
3層：灰褐色砂層．
4層：灰褐色砂層．（礫を多量に含む）．
5層：灰褐色砂層．

1層：表土．黒褐色
2層：灰褐色砂層
3層：黒褐色砂質シルト．
4層：黄褐色砂層
5層：褐色砂層．
6層：灰褐色砂層．礫を多量に含む．
7層：灰褐色砂層．

1層：表土．（黒褐色）．
2層：明褐色砂層．
3層：暗褐色砂層．
4層：灰褐色砂層．
5層：灰色砂層．ラミナ発達．
6層：灰色砂層．

1層：表土．
2層：黄褐色砂層．
3層：灰褐色砂層．

◀：出土遺物あり（層位特定）
▽：出土遺物あり（層位非特定）



TP24土層観察(高瀬)↑
2014/9/12 14:39

遺跡東限の範囲確認調査
(TP25･18･24･23･19･21･22)



TP18北西壁土層断面
(2014/9/9 16:37)



TP23北西壁土層断面
(2014/9/12 9:42)



TP21北西壁土層断面
(2014/9/10 11:25)



TP25北西壁土層断面
(2014/9/13 10:23)



TP24北西壁土層断面
(2014/9/12 14:43)

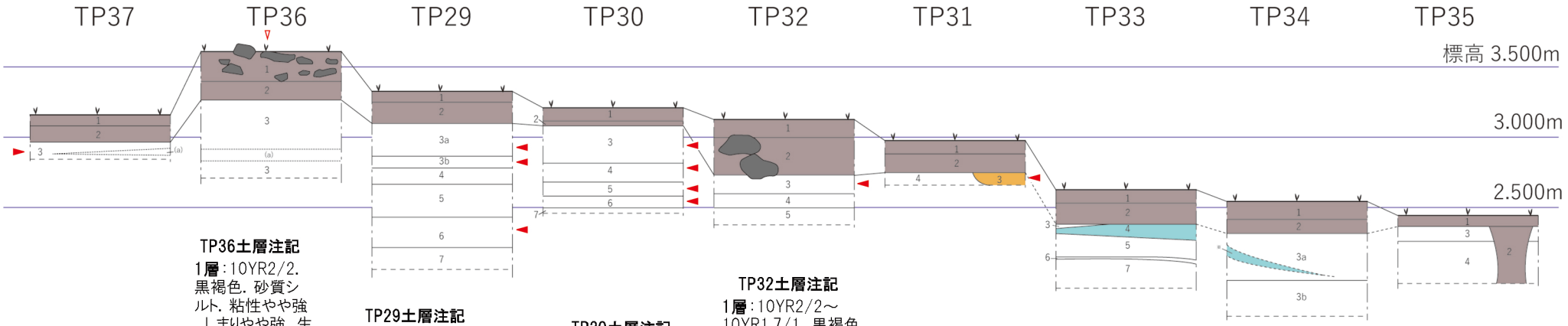


TP19北東壁土層断面
(2014/9/9 16:00)



TP22南東壁土層断面
(2014/9/10 14:51)

26.遺跡北限の範囲確認調査



◀：出土遺物あり（層位特定）
▽：出土遺物あり（層位非特定）

TP37土層注記

1層：10YR2/2～10YR3/1. 黒褐色. 砂質シルト. 粘性中. しまり弱. 生根を多量に含む.

2層：10YR2/3～10YR2/2. 黒褐色. 砂質シルト. 粘性やや弱. しまりやや弱. 生根を少量含む.

3層：10YR3/4～10YR4/2. 暗褐色～灰黄褐色. 細砂. 粘性弱. しまり中. 直径1cm程度の軽石を多量に含む. 直径5cm~10cm程度の礫を少量含む

(a層)：7.5YR1.7/1. 黒色. 細砂. 粘性弱. しまりやや強. 直径1cm程度の炭化物を多量に含む.（記録：俣野・佐藤・榎本）

TP36土層注記

1層：10YR2/2. 黒褐色. 砂質シルト. 粘性やや強. しまりやや強. 生根やや多量. 直径10～30cmの礫を多量に含む(崖錐堆積物).

2層：10YR4/4～10YR2/3. 褐色～黒褐色. 砂. 粘性やや弱. しまりやや弱. 直径10～30cmの礫をやや多量に含む.

3層：10YR4/3～10YR4/4. にぶい黄褐色～褐色. 砂. 粘性やや弱. しまりやや弱. 直径5～10cmの丸みを帯びた礫を多量に含む. 上部は土壌化が進み少し暗い.

(a層)：7.5YR1.7/1～10YR3/1. 黒色～黒褐色. 砂質シルト. 粘性中. しまりやや強. 直径5～30cmの石をやや多量に含む.（記録：一井・杉村・早川）

TP29土層注記

1層：10YR2/2. 黒褐色. 細砂. 粘性中. しまり中. 表土.

2層：7.5YR2/3. 極暗褐色. 細砂. 粘性やや強. しまりやや強.

3a層：10YR3/3. 暗褐色. 細砂. 粘性中. しまりやや弱. 遺物出土. 直径5mmの炭化物粒、骨片を少量含む.

3b層：7.5YR3/2. 黒褐色. 細砂. 粘性やや弱. しまりやや弱. 遺物出土. 直径1～3cmの炭化物粒を少量含む

4層：10YR4/3. にぶい黄褐色. 細砂. 粘性やや弱. しまり弱. 直径1～3cm程度の炭化物粒を微量に含む.

5層：7.5YR4/3. 細砂. 粘性弱. しまり弱. 直径1～2cm程度の炭化物粒を微量に含む. 直径5～15cm程度の亜角礫を多量に含む.

6層：2.5YR4/3. オリーブ褐色. 細砂. 粘性弱. しまり弱. 遺物出土. 直径1～2cm程度の炭化物粒を微量に含む.

7層：10YR4/4. 褐色. 細砂. 粘性弱. しまり弱. 直径1～2cm程度の炭化物粒を微量に含む. 直径15～30cm程度の亜角礫を多量に含む.（記録：高瀬・渡辺・溝尻）

TP30土層注記

1層：10YR2/2. 黒褐色. 細砂. 粘性中. しまりやや弱. 表土.

2層：2.5YR5/2. 暗灰黄色. 細砂. 粘性弱. しまり強. 道路敷設に伴うバラス. 直径2mm~1cmの角礫を多量に含む.

3層：10YR2/3. 黒褐色. 細砂. 粘性中. しまり中. 遺物出土.

4層：7.5YR3/2. 黒褐色. 細砂. 粘性やや弱. しまり中. 直径5mmの炭化物粒をごく微量に含む. 遺物出土.

5層：7.5YR3/3. 暗褐色. 細砂. 粘性中. しまり中. 直径5mm~2cmの炭化物粒を微量に含む. 遺物出土.

6層：2.5Y3/3. 暗オリーブ褐色. 細砂. 粘性やや弱. しまり中. 遺物出土.

7層：10YR4/3. にぶい黄褐色. 細砂. 粘性弱. しまりやや弱. 直径5mm~1cmの炭化物粒を微量に含む.（記録：高瀬・中沢・中村）

TP32土層注記

1層：10YR2/2～10YR1.7/1. 黒褐色～黒色. 砂質シルト. 粘性弱. しまり弱. 直径3～20cmの礫を多量に含む. 生根多.

2層：7.5YR2/3. 極暗褐色. 砂質シルト. 粘性弱. しまり弱. 直径5～30cmの礫多量(崖錐堆積物)

3層：10YR2/2～10YR2/1. 黒褐色～黒色. 砂質シルト. 粘性やや強. しまりやや弱. 直径3～5cmの礫少量. 土器出土.

4層：10YR4/4. 褐色. 砂質シルト. 粘性中. しまりやや強.（上部は10YR3/3暗褐色～10YR4/3にぶい黄褐色、土壌化が進む. 直径1～3cmの風化礫多量.

5層：10YR4/6. 褐色. 細砂. 粘性中. しまりやや強. 直径10～20cmの礫多量（記録：俣野・佐藤・榎本）

TP31土層注記

1層：10YR2/3～2.5Y2/1. 黒褐色～黒色. 砂質シルト. 粘性やや弱. しまりやや弱. 生根をやや多量に含む.（備考：暗黒褐色系土層）

2層：7.5YR3/1～10YR1.7/1. 黒褐色～黒色. 砂質シルト. 粘性やや強. しまり中. 生根をやや多量に含む.（備考：暗黒褐色系土層）

3層：7.5YR1.7/1～10YR1.7/1. 黒色. 砂質シルト. 粘性やや強(東壁3層よりも粘性が多少強い). しまりやや強(東壁3層よりも多少弱い). 直径5～30cmの礫をやや含む.（備考：墓あるいは竪穴状遺構の覆土か）

4層：10YR3/3. 暗褐色. 砂. 粘性やや弱. しまりやや弱. 礫を多量に含む.（備考：黄色系砂層）（記録：早川・杉村・一井）

TP33土層注記

1層：7.5YR2/1. 黒色. 砂質シルト. 粘性やや強. しまりやや強. 生根を含む.

2層：10YR2/2. 黒褐色. 砂質シルト. 粘性やや強. しまりやや強.

3層：7.5YR3/2. 黒褐色. 砂質シルト. 粘性やや弱. しまり中. 軽石を少し含む.

4層：10YR2/3. 黒褐色. 軽石を多量に含む. 粘性弱. しまり弱.

5層：10YR4/6. 褐色. 細砂. 粘性やや弱. しまりやや弱.

6層：10YR3/3. 暗褐色. 細砂. 粘性やや弱. しまりやや弱. ラミナ状の堆積.

7層：10YR5/8. 黄褐色. 細砂. 粘性やや弱. しまりやや弱.（記録：足達・舟木・高垣）

TP34土層注記

1層：7.5YR3/1. 黒褐色. 砂質シルト. 粘性中. しまり弱. 生根を多量に含む.

2層：10YR2/1～7.5YR2/1. 黒色. 砂質シルト. 粘性やや強. しまりやや強. 生根を少量含む.

3a層：7.5YR2/3. 極暗褐色. 細砂. 粘性やや弱. しまり中. 3a層上面で削平されている。

※直径1mm～1cmの軽石のブロック.

3b層：7.5YR3/4. 暗褐色. 細砂. 粘性弱. しまりやや弱. 直径8cm程度の礫を微量に含む.（記録：諏訪・草野・山本）

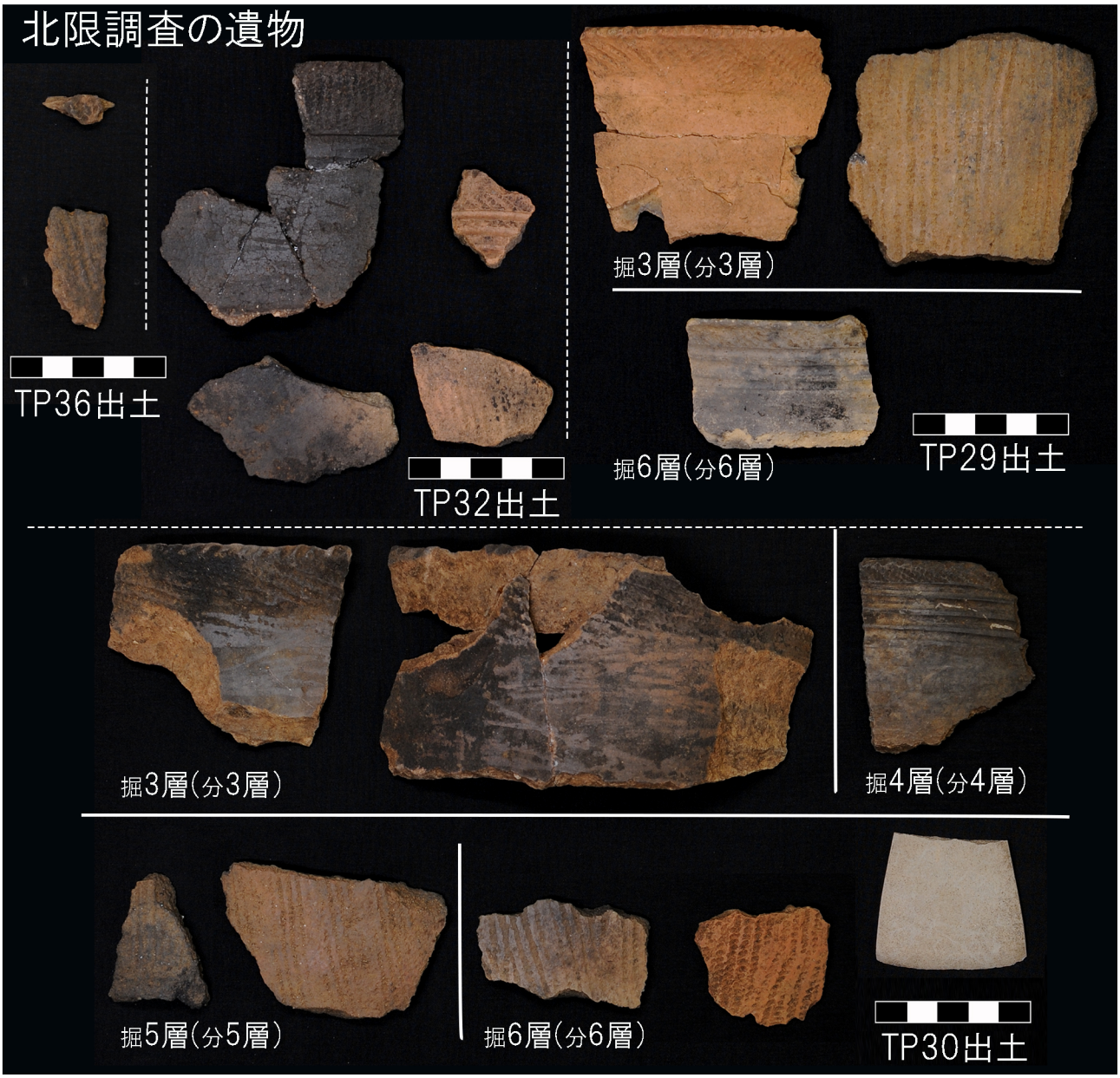
TP35土層注記

1層：7.5YR2/3. 極暗褐色. 砂質シルト. 粘性やや強. しまり中(備考：暗茶褐色系砂質土層)

2層：10YR2/2. 黒褐色. 砂質シルト. 粘性中. しまりやや弱. 砂土をごく多量に含む. 現代土坑覆土.

3層：5YR1.7/1. 黒色. 砂質シルト. 粘性やや強. しまりやや強(備考：暗茶褐色系砂層)

4層：10YR3/4. 暗褐色. 砂土. 粘性弱. しまり強. 礫を少量含む(備考：茶色系砂層)（記録：高橋・山下・バクミーウェワ）





北限調査のTPの設定
2019/9/9 14:34



TP37の調査　2019/9/12 16:28



TP36の調査　2019/9/12 16:28

TP35の調査　2019/9/10 16:04



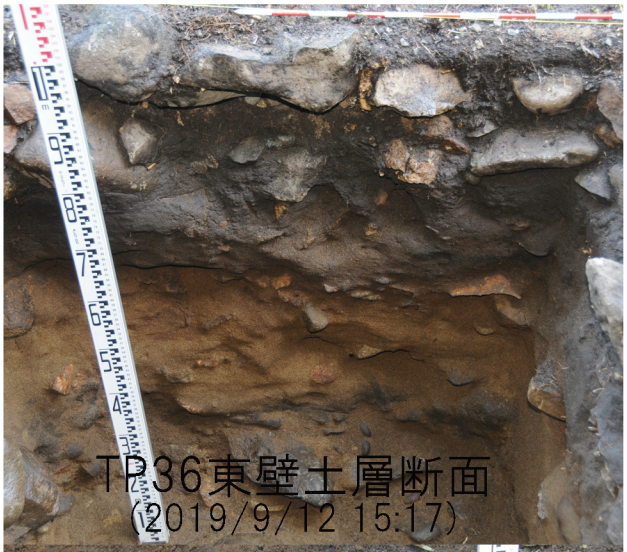
TP32の調査　2019/8/30 14:04



TP34の調査　2019/9/11 10:12



遺跡北限の範囲確認調査
(TP36・29・30・32・33・34・35)



TP36東壁土層断面
(2019/9/12 15:17)



TP29西壁土層断面
(2018/9/6 13:09)



TP30西壁土層断面
(2018/9/6 12:35)



TP32西壁土層断面
(2019/8/30 17:08)



TP33西壁土層断面
(2019/9/10 16:56)



TP34西壁土層断面
(2019/9/10 17:09)



TP35南壁土層断面
(2019/9/10 14:48)

礼文華遺跡第3次調査

遺跡範囲確認調査の記録

小 杉　康　編著
北海道大学大学院文学研究院
考古学研究室　発行
〒060-0810　北海道札幌市北区北10条西七丁目

2020年3月27日　印刷
2020年3月31日　発行

印刷　北大生協 印刷･情報サービス部

〒060-0808　札幌市北区北8条西7丁目1-1



噴火湾北岸縄文エコミュージアム©